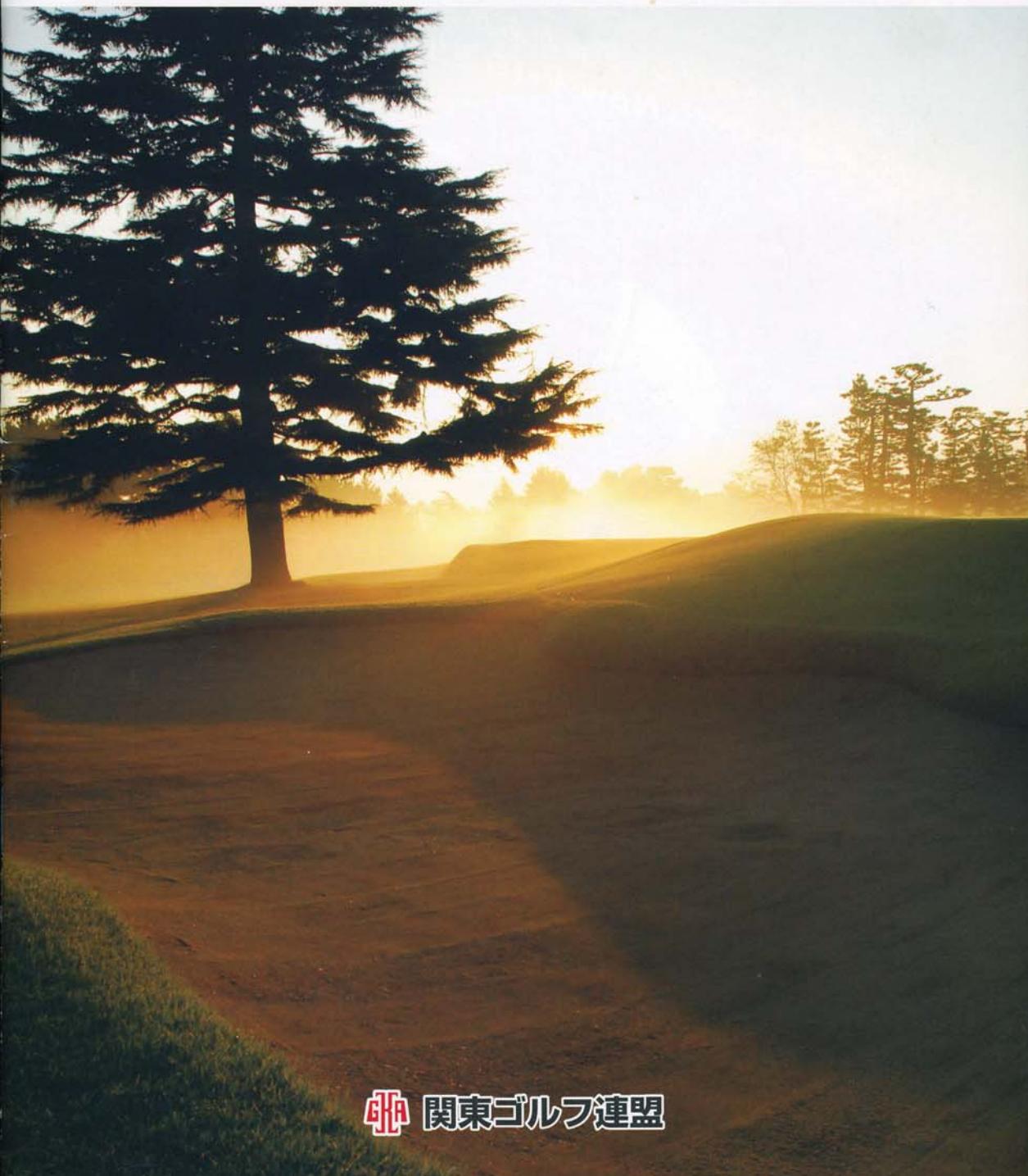


KGA NEWS

2007秋・冬号
2007年12月20日発行

No.96



 関東ゴルフ連盟

KGA NEWS No.96

CONTENTS

- 特別インタビュー
富田浩安KGAハンディキャップ委員長聞く
JGAハンディキャップを「J-sys」でより身近に ... 2
- 平成19年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技
最終バックナインで猛追した
和田博選手の逆転優勝 4
- 平成19年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技
新・旧の対決を制し、宮辰夫選手に栄冠 8
- 平成19年度 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権競技
南雲真理選手プレーOFFを制して大会2勝目 12
- 平成19年度（第1回）全国小学生ゴルフ大会
秋空へ、未来への夢と白球 16
- 平成19年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技
永井明選手昨年に続き、見事二連覇を飾る 18
- 平成19年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—決勝競技
(男子A・Bクラス)
アンダーハンディ競技を通じてゴルフの面白味を 21
(女子A・Bクラス)
いい緊張と選ばれたコース、これがアンダーハンディ競技の真髄だ 24
- 特別対談／インタビュー高橋KGA広報委員長
1都10県の加盟俱楽部の活動状況を聞く——第9回 静岡県
ゴルフ場協会が先頭になって活発な利用税の減免運動 29
- 平成19年度 主催競技を振り返って
競技参加者の著しい増加を今後の踏み台に 35
- 「関東アマチュアゴルフ選手権」の取材をめぐって
ゴルフを理解しスポーツとしての取材を 36
- 新規加盟俱楽部紹介 38
- 日程表 39
- 月例競技成績表・
2008年度ゴルフ規則改訂について・お知らせ ... 40

表紙 Photo

関東アンダーハンディキャップ選手権決勝競技
朝焼けの我孫子ゴルフ俱楽部
(撮影：塙越克一／KGA広報委員)
逆光に大きく影を映すヒマラヤ杉。
グリーンからバンカーへ続くなだらかなラインが美しい



Kanto Golf Association
organized 1935

関東女子ミッドアマ決勝会場のカレドニアン・ゴルフクラブ
熱戦をよそに光る水面で戯れるカルガモの群れ

特別
インタビュー

JGAハンディキャップを 「J-sys」でより身近に

平成20年1月1日から「J-sys」が(財)日本ゴルフ協会へ移管

富田浩安KGAハンディキャップ委員長に聞く

インタビュアー／森口 静彦 (KGA広報委員)



森口 KGAが構築した、コンピュータによるハンディキャップ査定システム「J-sys」が、平成20年1月1日から(財)日本ゴルフ協会(JGA)に移管されますが、まずはこのシステム構築と移管の経緯についてお教えください。

富田 ハンディキャップ(以下、Hdcp)はスポーツの中でもゴルフ特有の競技システムで、ゴルフの普及には不可欠なものです。俱楽部間の交流、インタークラブ競技が盛んな欧米では、いわゆるアンダーハンディ競技も大いに行われています。ところが、日本では伝統的に自分の俱楽部内だけでプレーするゴルファーが多く、対外的には信頼性に欠ける俱楽部Hdcpでも、ほとんど支障がありませんでした。また、JGAが各俱楽部にHdcpを独自で査定、発給する権限を認めていたこともあって、Hdcpの公平性が必ずしも担保されていませんでした。

森口 実際、俱楽部によっては名誉Hdcpといった、実力と違ったHdcpが査定されていることも事実でしたね。

富田 そうですね。しかし、それはHdcp本来の姿ではありませんし、信頼性がなく、ますます普及が進みません。また、俱楽部Hdcpでは公平性を欠くため、インタークラブ競技もどうしても盛なものになりました。プライベートコンペが

もっぱらダブルペリアという、運に大きく左右されるHdcpで実施されているのも、その弊害だと思います。そこで30年ほど前でしょうか、JGAが全国統一基準による査定システムの構築を発案、それをモニター地区連盟としてKGAに委託しました。それを受け、KGAはコンピュータで算出される、公平性の高いHdcpシステム作りに着手。各方面からの意見やニーズを取り入れて完成させたのが「J-sys」です。しかし、その完成後も、JGAは各俱楽部にHdcpの独自査定と発給の権限を与えていたこともあり、KGAでも加盟の約500俱楽部のうち「J-sys」を採用していたのは半分。残りの半分は、独自査定の俱楽部Hdcpで競技を実施していました。ところが、KGAが平成20年から主催競技の出場資格に採用するJGA Hdcpを俱楽部で計算されたJGA Hdcpでは認めなくなったこと、そして、KGA職員の各俱楽部への地道な説明活動のお陰で、現在、「J-sys」採用俱楽部は約400までになりました。

森口 そもそも「J-sys」は、将来、全国にオフィシャルHdcpを普及させることを目的に、JGAに代わってKGAが構築したシステムということですね。その普及のための重要な要素は何だったと思われますか。

富田 もちろん、Hdcpシステムの根幹である公平性と信頼性。そのうえで、全国で使ってもらえるようになるには、誰でも簡単に利用でき、かつ経済的でなければなりません。

森口 最初、「J-sys」は各俱楽部から計算センター



森口 静彦
KGA広報委員

に送られてきたスコアカードを、コンピュータにインプットし、算出された数値をHdcp証明書としてメンバーに郵送するというコストのかかるものでした。

富田 その改善で構築されたのが、現在の「J-sys

for Web」です。今でも各俱楽部を通じてスコアを提出することができますが、それはあくまでも代行で、基本は会員各自で携帯電話からホストコンピュータにアクセスしてもらうものです。携帯電話からも利用できるHdcp査定システムは、世界で公認したシステムとしては、この「J-sys」だけではないでしょうか。また、Hdcp証明書も俱楽部でデータを取り出し、印刷する仕組みですから、コストは大幅に軽減されました。従来の基本使用料金、スコアカード処理料金、計算センターサポート料金は全廃され、「J-sys」登録料として1人年間420円(含消費税)をいただくだけでスコアカードの枚数により利用料は変わりません。もちろん、利用者もブロードバンドの普及で、サービスを迅速、かつ低コストで利用できるようになりました。

森口 全国一律、同じ料金で同じ内容のサービスが受けられるというのは、大きなメリットですね。

富田 はい。既に全国組織の(社)日本パブリックゴルフ場事業協会がJ-sysを採用しており、全国でのスマースな利用は実証済みです。これで、正式競技であれプライベートコンペであれ、俱楽部がホストコンピュータにアクセスすれば、出場者のHdcpを簡単に確認することができますから、JGA Hdcpは全国でとても使い勝手のいいHdcpシステムになると思います。実はJGAも2年前ですか、「JGA俱楽部」というノンクラブの個人メンバーの募集を行うに当たり、独自にHdcp査定システムの構築を検討しました。しかし、いろいろと研究した結果、歴史も実績もある「J-sys」を高く評価、そして平成20年からの移管となったのです。このことは、KGAは誇りとしていいと思います。



森口 システムには自信がありますから、今後の普及が楽しみですね。

富田 ええ。そして、これを活用してゴルフ振興に結び付けたいですね。少子化を考えると、俱楽部という枠を超えた競技を盛んにしなければなりません。それにはJGAハンディキャップの普及は欠かせないでしょう。

森口 アンダーハンディ競技に出た人からは、「とても楽しかった」という声を多く聞きます。

富田 普及については、KGAの各俱楽部が率先してJGA Hdcp取得の機運を盛り上げてくださっているのが、とてもありがたいですね。また、学生ゴルフ連盟も平成20年からの採用を決めています。学生のうちからオフィシャルHdcpになじんでもらうのはとてもいいことで、将来にわたっての波及効果も期待できます。実は、「J-sys」はスコアだけでなく、データを入力すればパー率とか、パー率、平均バット数といったようなデータ分析も算出されるんです。学生の皆さんにはきっと活用してくれるんじゃないでしょうか。もちろんこうしたデータ分析ができるのも、世界での「J-sys」だけではないでしょうか。

森口 他に、今後の展開に期待することは?

富田 利用者には、競技だけでなくプライベートでのスコアもすべて申告し、真の実力をHdcpに反映させ、信頼性を高めてもらいたいですね。また、JGAには、いすゞはUSGAのスロープシステムのような、従来とは異ったゴルフ場の難易度まで加味されるHdcp規定を構築してもらいたい。そして、世界のHdcpとリンクするようになれば、ゴルフの振興にさらに役立てるのではないですか。

森口 そのような方向に進むことを期待します。本日は、ありがとうございました。

■平成19年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

最終バックナインで猛追した和田博選手の逆転優勝

—18番ホールで致命傷を招いた金選手のアプローチショット—

文／西澤 忠 (KGA広報委員)
写真／塚越 克一 (KGA広報委員)

地球温暖化の影響か、9月末の大利根カントリークラブ西コースは残暑の盛りで、2日目の最終ラウンドを迎えた9月26日は、気温24.6度、東南東の風は3mだったが、天候が曇りで幸いにもゴルフ日和であった。

今大会にエントリーした選手は145名だったが、初日を終えて欠場4名、棄権12名、失格2名の計18名が姿を消し、最終18ホールに挑んだのは136名になった。中でも日本アマ界の常連で、この大会には一昨年に優勝、昨年はプレーオフに残る2位と活躍をした阪田哲男選手が途中棄権したのは残念であった。

ドラマを演出したホールロケーション

茨城県の利根川沿い、深いマツの森に36ホールを有する大利根カントリークラブは昭和35年に開場した関東でも指折りの名コース。東西18ホール二つとも井上誠一設計で、今大会は西コースを舞台に繰り広げられた。東コースは2010年の日本女子オープン開催に向けて、グリーンの芝を変更中だった。

西コースは7,023ヤードでパー72という距離に加え、“ペンA2”というニュー・ペント芝で仕上げたグリーンのクオリティも話題的だった。ステインプメーターで11.1フィート、コンパクション11という数字が選手の技量を正しく引き出すだろうと評判だったからだ。それに加えて、野口正三競技委員長の下、内藤正幸競技副委員長が



優勝杯を手に喜びの和田選手

担当したホールロケーション（ピン位置）が出場各選手から「フェアだ。最近の選手権ではピン位置をグリーンエッジに寄せる傾向だが、セカンド地点から見ると難所に立っているように見え、グリーンへ行って見るとちゃんとした場所にあるのです」（昨年のチャンピオン、館英樹選手）との声もあった。内藤競技副委員長によると、「最終日のピン位置ではグリーンの左右エッジから10ヤード以内に立てたのは13ホール。エッジから5ヤードというギリギリな位置が4ホールありました。これは、今の選手の力量から考えた結果です。以前はグリーン上でピン位置を考えたものですが、今はフェアウェイのセカンド地点か



優勝した和田選手の堅実なショット



和田選手に逆転され惜しくも2位に甘んじた金選手



エースが2つ生まれた大利根CC 西コース4番ホール

和田選手、会心の一打

ゲームの内容に触れよう。初日の18ホールを終わり、首位に立ったのは4年前の今大会チャンピオン、金浩延選手（都賀）のイープンバー。そして+1に白井敏夫選手（総武）、池田純選手（東名厚木）、水上晃男選手（袖ヶ浦）の4人が最終組。なかでも昭和23年生まれ、59歳の白井選手は'03年の日本シニア選手権で優勝しているベテランだけに、若い選手にどこまで負けずに頑張るかが注目された。しかし、1番ホールのティーショットをいきなり左の木に当て、ラフを渡り歩くショットの乱れでダブルボギーのス



最終日2オーバーと善戦、3位に進出した亀井選手



白井選手は第1日目73の好スコアを挙げたが…。

タート。その後もボギーを量産してアウト9ホールで+9へと後退した。

その点、飛距離の出る金選手はフェアウェイの狭いホールではレイアップするゲームマネジメントで、冷静に攻める。1番のボギーを7番のパー5でパーでとして取り戻すイープンパーで、金選手を追う展開に変わりはない。

こうして迎えた最終バックナインに、3組前でプレーした和田博選手（東京五日市）がとてつもないスコアを叩き出していた。1996年、第1回の日本ミッドアマ選手権、2000年の日本アマ選手権優勝者が久しぶりに会心のプレーを開いたのだ。スタート時点で+3の和田選手が+5でハーフターンすると、10、11番を連続パーで。13番も獲ってなんと+2まで盛り返していたのだ。そして迎えた14番ホール（448ヤード・パー4）はこの日の難度4番目、126選手の平均スコアが4.57という難関ホールだった。ラウンド後の本人の説明によると、「右のラフから22ヤードのアプローチショットをサンドウェッジで打つたら、ラッキーにも入ったのです！」これで+1。11番のパー5でボギーにした金選手が+1だった

から、和田選手が首位に並んだのだ。このチップインバーディの歓声は金選手の耳にも届いていた。

しかし、金選手のクールなプレー態度は変わらない。175ヤード、82%という恵まれた体躯から繰り出すショットは他を圧倒していた。日大でゴルフを覚え、社会人になっても競技ゴルフを続ける37歳はプレッシャー下でのマインドコントロールを知っているのだろう。12番からの4ホールを堅実にパーで収め、16番（234ヤード・パー3）に挑んだ。4つあるパー3ホールで最難関で（平均スコアが3.67）ホールの距離の長さが最大の要因。しかし、金選手はアイアンを手にし、グリーン左手前のラフにボールを落とす。どうやら、2オン1パットの攻略を選んだようだ。しかし、ダウンヒルからのショートアプローチがガツン！と音の出る当たりになったのが誤算。ピンを大オーバーしてボギーとし、+2になったのだ。それでも、諦めずに17番のセカンドを右ラフから木の上を抜く7番アイアンでピン傍につけるパーでまた+1に戻す。すでに、+1のままホールアウトした和田選手の待つ18番ホールを残すだけとなった。408ヤード、パー4の18番は距離も短

く、金選手の飛距離をもってすればパーは確実と思われた。ギャラリーからも“さあ、プレーOKか？”という声もあがる。しかし、ここでも金選手のショートアプローチが致命傷を招いてしまう。グリーンを左に外した後、寄らず・入らずのボギーで、トータル+2でフィニッシュ。1打差に終わったのだ。この瞬間、プレーOKを予想して、長尺パターを手に練習グリーンにいた和田選手に凱歌が上がった。

優勝者、和田選手の言葉

和田博、昭和37年6月16日生まれの45歳。日本アマ、日本ミッドアマのタイトルを獲得して以来、目立った活躍のなかったベテラン選手が復活したわけだが、本人の弁を聞こう。

「7年振りの公式戦勝利は嬉しい。昨年から千葉の袖ヶ浦CCに入会させていただき、阪田哲男さんとプレーした環境のお陰かも。今年の4



ホールインワンを達成した富田選手（左）と霜田選手



月から始めた長尺パターも自信になりました。バックナインのプレーではバックスイングをコンパクトにしたらピンを直線で狙えた。9ホールを10パットでしたから」

このレベルの選手でも、ちょっとした技術の変化でショットが蘇る。ゴルフ技術の奥の深さをここでも教えられたことになるのだろう。

平成19年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成19年9月25日、26日 ●開催倶楽部 大利根カントリークラブ西コース 7,023ヤード パー72
エントリー 145名/出場者 141名 日本ミッドアマチュアゴルフ選手権出場有資格者

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	和田 博	東京五日市	75	70	145
2	金 浩延	都 賀	72	74	146
3	亀井 隆	唐 沢	73	74	147
4	木名瀬和重	水 戸	75	73	148
5	池田 純	東名厚木	73	76	149
5	水上 真男	袖ヶ浦	73	76	149
7	富田 雅之	セントラル	74	76	150
8	渡部 富夫	ゴルデンレイクス	74	77	151
9	和田 貴之	桜 の宮	76	76	152
9	鹿島 康裕	相模原	78	74	152
9	杉山 稔	総 武	74	78	152
9	福川大次郎	メイブルポイント	76	76	152
9	松田 永基	清 川	76	76	152
9	毛利 史郎	茨 城	74	78	152
15	鈴 英樹	富士笠間	79	74	153
15	小久江正人	ミオス菊川	77	76	153
15	藤方 修三	霞 台	77	76	153
15	森田 聰史	G M G 八王子	74	79	153
15	横川 龍希	東 名	76	77	153
20	永井 英輔	東京国際	77	77	154
20	水野 潤一	富士平原	79	75	154
20	木村 哲也	大 利根	76	78	154
20	澤田 信弘	東京五日市	76	78	154

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
20	中跡 朝臣	ルーデンス	75	79	154
20	高橋 雅也	川 越	75	79	154
26	野口 道男	ブリック&ウッド	78	77	155
26	広田 文雄	長 野	80	75	155
26	石井 保行	清 川	78	77	155
26	堺本 剛	水 戸	82	73	155
26	井上 昌樹	立 科	78	77	155
26	久保 裕造	石 坂	77	78	155
26	室野 歩	東 千 葉	75	80	155
26	布施 敏三	袖ヶ浦	78	77	155
26	小林 祐治	東 京	79	76	155
26	竹原 洋行	名	75	80	155
26	川崎 邦朗	江 戸 崎	76	79	155
37	加藤 健康	スプリングフィルズ	81	75	156
37	霜田 邦明	大 日 向	79	77	156
37	志村 幹夫	日 立	82	74	156
37	松本 武夫	成 田 G C	77	79	156
37	白井 敏夫	総 武	73	83	156
37	堀内 健	千 葉 国 際	77	79	156
37	中野 正義	富 士 笠 間	75	81	156
37	中澤 貞利	ツインレックス	79	77	156
37	勝又 正浩	東 京	75	81	156
37	高橋 埼人	赤 城 国 際	77	79	156

■平成19年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

新・旧の対決を制し、宮辰夫選手に栄冠

文／森口 静彦 (KGA広報委員)

写真／舟橋 一芳 (KGA広報委員)
増田 收 (KGA広報委員)



初資格、初出場で優勝した宮選手（習志野）

関東シニアの創設は昭和29年(1954)に遡る。我が国のゴルフは昭和32年、第5回カナダカップに中村寅吉・小野光一のペアが団体戦に勝ち、広く普及するきっかけとなるのだが、その3年前のことであり、第1回大会の参加者は僅か27名。決勝は予選を通過した8名のマッチプレーで争われたが、藤田欣哉、野村俊吉、堀籠虎之助らのほとんどが戦前のゴルファーであった。

爾来半世紀余りを経て、今大会は5会場に783名がエントリーし、予選競技が行われる盛況振りである。予選を通過した141名と前年度の5位タイまでのシード選手6名が加わり計147選手が参加して決勝競技が行われた。

会場となったのは嵐山カントリークラブ(埼玉)。小寺酉二設計により、昭和37年にオープン、今年で開場して45年だ。昭和初期、日比谷公園の設計者として有名な本多静六博士が、京都の嵐山に似ているところから「武蔵嵐山」と命名した如く、緑豊かな丘陵に展開するコースの眺めは素晴らしい。何度も改修の手も加えられ、

日本オープン、日本シニアオープンなどビッグトーナメントの開催経験もある。関東シニアは昭和62年に開催している。

決勝初日、阪田選手1アンダーでトップ

決勝初日10月1日(月)は朝方雨であった。気温18℃。風はほとんどないが肌寒い一日だった。トップはインスタートの阪田哲男選手(袖ヶ浦)。インは1バーディー、ノーボギーの35。アウトは3バーディー、3ボギーで36計71。同じくインスタートの石川定男選手(セベ・バレステロス)はインが1バーディー、2ボギー37。アウトは1バーディー、ノーボギーの35、計72。アウトスタートの榎本幸和選手(オリムピック)はアウト1バーディー、2ボギーの37。イン2バーディー、2ボギー、36計73。また、アウトスタートの神山逸志選手(戸塚)はアウト・1バーディー、1ボギー36。イン1バーディー、2ボギー、37、計73といったところが有力選手たちだった。

初日の結果、上記4選手が最終日の最終組。1



優勝した宮選手の力強いショット



9回目のエースを達成した原選手

組前は2オーバーの富田進(岡部チサン)、川上秀男(寄居)、宮辰夫(習志野)、高安信行(セントラル)の4選手である。また2組前は3オーバーの隈元安雄(レインボーヒルズ)、今井喜平(相模原)、井端和生(大熱海国際)、加部嗣男(東名)の4選手であるが、4、5組前にも4オーバーで8選手が控えているという混戦状態だった。

最終日、宮、加部両選手が好スコア

10月2日(火)。この日は曇り、午後には日が射し暑さを感じる。フロントナインを終えた段

9回目のホールインワン

原繼雄選手(横浜)

決勝最終日、16番ホール(166ヤード=パー3)において平成12年度の関東シニアチャンピオン原繼雄選手(横浜)が見事ホールインワンを達成しました。

使用クラブは5番アイアン。高い打ち上げのホールだから、残念ながら、本人はカップインの瞬間は見えなかつたはずだが、「グリーン手前に落ち、真っ直ぐ転がって入った」とは同伴キャディーさんの説明でした。

歴戦の勇士原選手にとって、9回目の快挙のことですが、公式競技では初めてとのことです。開催倶楽部より、記念トロフィーの贈呈がありました。おめでとうございます。

階で、昭和27年生れ、今年がデビュー戦の宮選手が34で通算パープレー。次いで昭和12年生れ、今大会2番目の高齢、かつ常連の加部選手が35で通算2オーバーというスコアだった。ディフェンディングチャンピオン阪田選手は2バーディー、4ボギーの38。通算1オーバーに後退。一方、寺村、井端両選手も共に34でそれぞれ通算2オーバーと1オーバー。

バックナインは阪田選手のいる最終組について観戦することにした。

阪田選手は10番バーディーでパープレーに戻したもの、11、12、13、15番でボギーを叩き、残り3ホールで通算4オーバーと苦しくなった。

一方、宮選手はパープレー街道をひた走り、加部選手も12、13番でバーディーを取ってパープレーに戻し、両者横一線に並んだ。

勝負は三つ巴戦から、宮、加部両選手による新・旧選手の一騎打ちの様相を呈し、野口競技委員長はトランシーバーを通じ、プレーオフに備えるよう早めの指示も出した。

その後、加部選手がイン、2バーディー、ノーボギーの34、通算144でホールアウトした。10番から16番までパープレーを続けた宮選手は17



2連覇の重圧を背に戦った3位の阪田選手



長尺バターを駆使し、69のエージュートを達成した2位の加部選手

番ホールでバーディーをとった後、最終ホール(パー5)はグリーンエッジからの第4打をピン下20センチに寄せマーク。同伴プレイヤー全員がホールアウトした後、これを入れ、通算143ストローク目とし、初資格、初出場でタイトルを手にした。

過去には、「初年兵は勝てない」といわれた関東シニアであるが、最近の10年間を振り返ると平成10年度小川透(岡部チサン)、平成12年度原繼雄(横浜)、平成14年度藤崎和典(富士笠間)の各選手に次いで4人目の初年兵の優勝だ。



出場最年長71歳の中野貞宣選手(東我孫子)。今年の関東グランドシニア選手権では優勝を飾った

「初年兵は勝てない」というジンクスは、最近の元気なシニアパワーに吹き飛ばされ、もはや通用しなくなったといって良いのではないか。

因みに、前回S62に嵐山CCで開催された関東シニアの優勝は山口梅吉選手(横浜)で、スコアは152ストロークである。今大会の優勝スコアはそれを9ストロークも上回る。その差は何を語るのであろうか。

■優勝宮選手との一問一答

——勝因はどういったところでしょうか。

宮 初日、雨でグリーンが重く、アプローチが寄らなかったので、今朝、アプローチを中心で練習したのが良かったですね。それにドライバーも良くてフェアウェイを外すことがありませんでした。

——後ろから阪田選手が追いかけてくるのを意識ませんでしたか。

宮 この大会の優勝スコアは-2と想定し、初日の74を挽回するため68で上ることを目標にプレーしていたので、特に気にはりませんでした。

——グリーンが重いのが気になりましたか。
宮 アプローチが良く寄ったので、しごれるようなパットはありませんでした。

——シニアのバッグを見ると、3、4番アイアンを入れていない選手が多いようですが、クラブの構成はどうしていますか。

宮 Wは1、3、ユーティリティ(19度)。アイアンは3~PW、SW、バター(Wilson)です。

——ゴルフ歴はどのくらいですか。

宮 大学に進んだ19歳の夏に、体育会ではないが所属学部のゴルフ部に入って始めたので36年になります。以来、競技中心にプレーしていました。日本アマは平成3年、4位タイ、同7年、5位タイ、日本シニアオープンにも出場しました。今年も日本シニアオープン予選を通過しており、本大会に落ちるわけには行かなかったのです。

——練習はどのようにされますか。

宮 週2~3回の練習と月6回のラウンドです。競技があるときは2週間前から調整してます。

——今後、シニアとしてどのようなゴルファー

69でエージュート達成

加部嗣男選手(東名)

宮選手と優勝を争い、惜しくもランナーアップとなった加部選手(東名)の決勝最終日のスコアは69。同選手は昭和12年生まれの70歳ですから見事なエージュート達成です。「エージュートは昨年3回、今年も4回出しておりますが、公式競技では初めて」とのことです。

同選手は平成5年、シニアの参加資格が55歳に下がった最初の関東シニアに56歳で初出場し、優勝して以来、平成15年に1回予選落ちしただけで毎年決勝に進出、上位入賞を続けております。また、平成7年の日本シニアオープンでは、ベストアマになるなど赫々たる戦歴の持ち主であり、関東シニアでエージュートを達成されたのは誠に相応しい舞台であったと言えましょう。益々のご健闘をお祈り致します。

を目指したいですか。

宮 まだ現役なので、まず仕事の安定を優先し、趣味と言うよりも、従来どおり、競技中心のゴルフをしたいですね。

平成19年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成19年10月1日、2日 ●開催会場 嵐山カントリークラブ 6,666ヤード パー72

エントリー 147名/出場者 135名

日本シニアゴルフ選手権出場有資格者

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	宮 辰夫	習志野	74	69	143
2	加部 嗣男	東名	75	69	144
3	阪田 哲男	袖ヶ浦	71	76	147
4	宮本 清	小川	77	72	149
4	寺村 義美	スプリングフィルズ	76	73	149
4	井端 和生	大航海国際	75	74	149
7	榎本 幸和	オリムピック	73	77	150
7	染谷 健市	扶桑	76	74	150
7	小林耕一郎	富士チサン	76	74	150
7	神山 逸志	戸塚	73	77	150
11	木戸 哲則	小田原・松田	80	71	151
11	矢吹 元良	ゴールデンレイクス	79	72	151
11	富田 進	岡部チサン	74	77	151
14	金本 勇	岡部チサン	77	75	152
14	阿部 逸郎	鶴舞	77	75	152
14	大和田康夫	草津	78	74	152
17	平石 定夫	都留	77	76	153
17	安達 光宣	リバー富士	77	76	153
17	俵 聖徳	富士箱根	79	74	153
17	石川 定男	セベ・パレステロス	72	81	153
21	原 繁雄	横浜	80	74	154

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
21	隈元 安雄	レインボーヒルズ	75	79	154
21	江川 健一	千葉桜の里	78	76	154
21	中井 敦尊	富士チサン	77	77	154
21	神戸 誠	太田双葉	76	78	154
26	遠藤銀治郎	鹿沼	78	77	155
26	戸祭 康夫	芳賀	80	75	155
26	岡口 幸雄	芳賀	79	76	155
26	中島 廣行	妻野	79	76	155
26	須長 順一	十日町	78	77	155
26	柴田 良三	紫	77	78	155
26	小豆野 修	オリムピック	77	78	155
26	小山 敏男	青梅	76	79	155
34	石井 重次	メイプルポイント	80	76	156
34	徳永 一充	龍ヶ崎	78	78	156
34	土屋 貞雄	新千葉	78	78	156
34	小久保武夫	小川	79	77	156
34	山田 劍	東千葉	77	79	156
34	瀧谷 重氏	新千葉	76	80	156
34	齊藤 博保	東千葉	76	80	156
34	高安 信行	セントラル	74	82	156



優勝杯を手に喜びの南雲選手（岡部チサン）

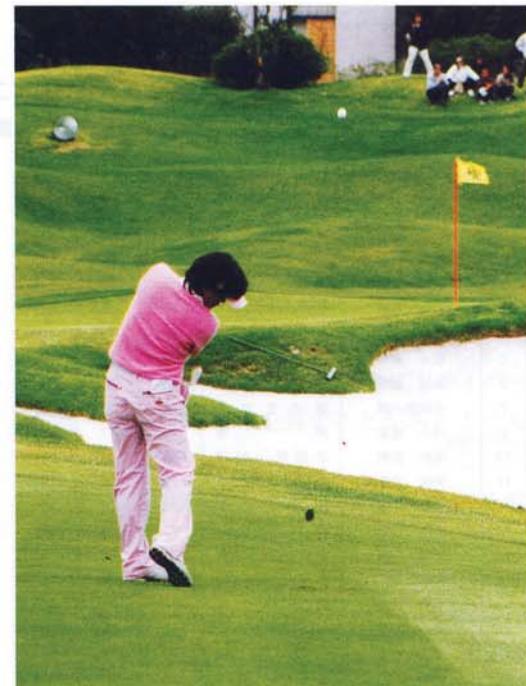
■平成19年度■ 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技 南雲真理選手 プレーオフを制して 大会2勝目

文／本條 強 (KGA広報委員会参与)

写真／伊室 一義 (KGA広報副委員長)、片山 晴美 (KGA広報委員)

て74という好スコアを生み、首位に立った。2005年にこの大会に初優勝しているだけに、彼女こそがこの至難のコースを制するように思えた。ところが2日目の最終日はパットに泣いた。

「スタートホールの1番でいきなり15㍍について、バーディパットは外れたのですが、お先にと打った30㍍のパットを外してしまいました。それがずっと



18番ホール。南雲選手の起死回生のサードショット

朝からどんより曇っていた空が、さらに暗くなり、風も強くなった。

「ラストホールで、ようやくパットが決まってくれてよかった」

南雲真理選手は最終18番ホールの5㍍のパットを思い出していた。

関東女子ミッドアマチュア選手権決勝競技は、10月15日、16日の2日間にわたって、千葉県山武郡にあるカレドニアン・ゴルフクラブで行われた。スコティッシュなデザインで名を馳せたロバート・トレント・ジョーンズの片腕であった、マイケル・ボーレットが心血を注いで造り上げたリンクスを彷彿とさせるコースである。

樹齢100年以上という山武杉、白砂のバンカー、波のようにうねるフェアウェイ、絨毯のようなグリーンといった美しい魅惑のコースだが、プレーヤーにとっては点と点を結ぶショットが要求される至難のコースである。しかもグリーンはかなりの速さに仕上がっている。

南雲真理選手は初日、首を痛めていたが、それがかえって頭を動かさないスイングとなっ

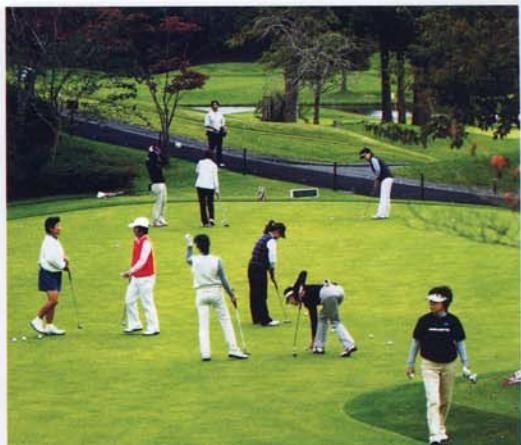
尾を引きました。短いパットがフックなのかスライスなのか、わからなくなってしまったんです。でもそれは今日に始まったことではなくて、最近はずっとそうなんです。今44歳なのですが、老眼になっていて、ラインが読めなくなっています」

前日のパットとは打って変わって3パットがぽろぼろと出る始末。しかもドライバーが右に左にと曲がる。このコースはフェアウェイが狭く絞っているだけに、苦しいゴルフが続いた。それでもアイアンが抜群の切れ味でショートホールなどでバーディを奪い、バンカーショットも巧みでパーをセーブして優勝戦線にしがみついていた。

「プレー中は優勝など意識してなかったですし、他の人のスコアを気にしたりする余裕もなかったですね。自分のゴルフで一杯一杯でした。ドライバーをフェアウェイに置こうとしたり、何とか2パットにならないかといった情けないゴルフをしていましたので。でも最終の18番によ



優勝した南雲選手のティーショット（プレーオフで）



スタート前、パッティング練習の選手たち

うやく思い切って振ればいいと開き直れて、今日イチのドライバーショットが打てて、パットもしっかりと打ててバーディが奪えたので、もうそれだけでいいと思えた1日だったんです」

ところがこのバーディで、先に上がっていた上野千鶴選手に追いついた。プレーオフになってしまったのである。上野選手は35歳。真冬でもショー



上野選手（ゴールデンレイクス）。プレーオフのティーショット



篠塚選手（富里）は1ストローク及ばず3位タイ。
安定したティーショットのフォーム



同じく3位タイの八木選手（ミオス菊川）の力強いティーショットのフォーム

トパンツという元気印のプレーヤーだ。この日も秋一番の寒さというのに半袖半ズボン。夕方となりさらに気温が低くなっているブレーオフでもウインドブレーカーを脱ぎ捨てて真夏のスタイルとなった。

「いつもと同じリズムで打とう」

ブレーオフ最初の10番ホール。先に打つ南雲選手は気合いの入った上野選手を意識することなく、マイゴルフを行った。曲がっていたドライバーショットが嘘のようなナイスショットとなり、フェアウェイ右サイドをとらえた。

一方、上野選手は気合いが入りすぎたのか、

ボールは大きくフックしてカート道にあたり、林に消えた。暫定球まで打ったが、1球目がOB杭ギリギリに残っていた。

「セーフなんて、びっくり」

上野選手は目を丸くしてそう言った。そして、このラッキーが上野選手に有利に働くように思えたが、フェアウェイに出した後の3打目のアプローチが僅かにグリーンに届かず、4オン1パットのボギーになってしまった。

かたや南雲選手は上野選手のラッキーにも動揺せず、2打目で確実にグリーンをとらえた。最後のパットは30cm。南雲選手は、冷静かつ確



3位タイの佐々木選手（妙高）の見事なフォーム

実にウイニングパットを沈めた。

「ずっとハラハラドキドキのゴルフで、とてもチャンピオンのゴルフとは言えません。でも最後は少しだけきちっとしたゴルフができました。そのにはにかんだ笑顔は少女のように可愛い。



成績発表に拍手する右から1位の南雲選手、2位上野選手、3位タイ佐々木選手、同篠塚選手、八木選手



コスモスが咲く道を行く選手たち

20歳前後のお子さんが2人もいるママさんゴルファーとはとても思えない。ハニカミ女王の誕生だった。

平成19年度 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成19年10月15日、16日 ●開催倶楽部 カレドニアン・ゴルフクラブ 6,101ヤード パー72

エントリー 126名／出場者 122名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計	順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	南雲 真理	岡部チサン	74	78	152	17	松本 京子	鳩山	78	84	162
2	上野 千鶴	ゴールデンレイクス	77	75	152	24	栗原美佐枝	小田原・松田	82	81	163
3	八木美智代	ミオス菊川	74	79	153	24	細野ハヅ季	沼津	82	81	163
3	篠塚 美幸	富里	78	75	153	24	上野美恵子	裾野	81	82	163
3	佐々木祥子	妙高	74	79	153	24	原口莉絵子	彩の森	81	82	163
6	山本美恵子	成田東	76	78	154	28	露木直子	東名厚木	86	78	164
7	平林 治子	都留	79	77	156	28	武田 妙子	水戸グリーン	76	88	164
7	田中 真弓	成田東	77	79	156	28	小岩由加里	クリアビュー	79	85	164
9	小池 佳代	立川国際	78	79	157	31	別府 砂織	サニー	84	81	165
9	小島絵梨香	ツインレックス	75	82	157	31	入江 佳子	磯子	77	88	165
9	竹田百合恵	グリーンバレイ	74	83	157	33	森山 明子	石坂	83	83	166
12	宮 美佳	美里	79	79	158	33	金子 弥生	東名厚木	83	83	166
13	西名 里佳	東千葉	76	83	159	33	吉田 薫	鶴舞	87	79	166
13	南 陽子	鹿児スリー	79	80	159	33	小森 幸恵	矢坂	85	81	166
15	田谷 千秋	平塚富士見	77	83	160	33	吉田 真理	大相模	82	84	166
16	舩木 友子	成田東	76	85	161	33	小島 桃子	オリムピック	82	84	166
17	関根奈穂美	セントラル	84	78	162	33	森本加奈子	セントラル	84	82	166
17	江原 千秋	ノースショア	81	81	162	40	堀江美奈子	入間	83	84	167
17	平田 悅子	カレドニアン	83	79	162	40	落合 麻紀	箱根	87	80	167
17	花田 里子	紫塚	83	79	162	40	佐藤 恵子	新千葉	83	84	167
17	小坂 瞬子	千葉	80	82	162	43	水澤 真澄	総武	87	81	168
17	川口文都恵	秦野	81	81	162						

秋空の 未来の夢を白球

～初の全国小学生ゴルフ大会～

写真 塚越克一 (KGA広報委員)



平成19年11月25日(日) 茨城ゴルフ倶楽部 西コース 18ホール・ストロークプレー
男子の部5,580ヤード パー72 女子の部5,340ヤード パー72
天候 快晴無風

男子の部

優勝 都 和人 6年(兵庫) 70ストローク(下中央)
2位タイ 加治屋 舜介 6年(東京) 72ストローク(下右)
2位タイ ユーバンク誠ケーヴァン 6年(神奈川) 72ストローク(下左)

女子の部

優勝 種子田 香夏 6年(福岡) 71ストローク(上左中)
2位タイ 境原 茉紀 6年(兵庫) 72ストローク(上右中)
2位タイ 河野 美桜 6年(神奈川) 72ストローク(上右)
2位タイ 羽藤 琴和 4年(千葉) 72ストローク(上左)

JGAの長い歴史の中で初めてとなる「全国小学生ゴルフ大会」が、茨城ゴルフ倶楽部の西コースにて11月25日(日)に開催された。

KGAでは小学生大会を平成7年より試合形式で開催しているが、その目的は競技ゴルフを体験する事と、競技でのルールやマナーを勉強する事であり「スコアさえ良ければいい」という傾向を無くすために継続している。今大会も同様の考え方で開催された。

各地区連盟で行なわれた小学生大会の上位者

(4年・5年・6年生の男女)が選抜され、男子39名、女子32名、計71名が男女別に参加した。日曜日のために多くのメンバー、一般来場者がある中、開催倶楽部である茨城ゴルフ倶楽部スタッフには早朝より迅速に対応していただいた。運営には、KGAジュニア育成委員会の委員20名があたり、それぞれの持ち場にスタンバイ。11月にしては日差しが暖かく、この初大会を祝福しているかのような素晴らしいゴルフ日和の中、ジュニア達は元気いっぱいにスタートして行った。



全国から集まった参加選手の両親や祖父母、兄弟と150名程の多くのギャラリーが、1番スタートと18番グリーンで暖かく見守っている。ここ数年問題となっている親の過熱振りは見られず、とても穏やかな雰囲気であった。選手の技量は大人並みで驚くばかりであるが、マナーやエチケットにおいても問題は無く、大会といえども素直にゴルフを楽しんでいるようだ。

男子の部の優勝は、都和人君(兵庫県6年生)70ストローク、女子の部は種子田香夏さん(福岡県6年生)71ストロークであった。

表彰式では、JGA富田浩安ジュニア育成委員長と、今大会の競技委員長であるKGA大鷲俊朗ジュニア育成委員長より、茨城ゴルフ倶楽部と関係者の方々に感謝の意が述べられ、入賞者に対して祝福の言葉がかけられた。また、全参加選手に対して富田委員長から「君たちは、未来から来た留学生です。ここで学んだことを吸収して、今後の勉強とゴルフに生かしてください」と期待の言葉がかけられた。

参加選手は、関係者や両親へ感謝の気持ちを拍手で表し、和やかな雰囲気の内に終了した。



■平成19年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技

永井明選手昨年に続き、見事二連覇を飾る

文／西田 美千子 (KGA広報委員) 写真／塚越 克一 (KGA広報委員)



二連覇達成！優勝杯を手に喜びの永井選手

平成19年度関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技は、10月9日、10日の両日中山カントリークラブ（千葉県）にて開催された。予選は2会場で行われ、メダリストが6名という激戦であった。決勝競技には5名のシード選手を含め、日本グランドシニア出場資格のある7名の選手、出場回数10回の表彰を受ける3名の選手、そして最年長75歳の石川一二選手（白鳳）を含め、総勢135名の65歳以上の強豪が結集した。雨が心配された最終日だが、この日は薄日もさし絶好の天候となった。カラスもうかれたのか



永井選手の年齢を感じさせない力強いフォーム

何人もの選手がボールをくわえていかれるという予期せぬハプニングがあり選手を悩ませた。

プレッシャーもピークに

最終日、最終組は高橋功選手（習志野＝初日71ストローク）、竹村昭雄選手（嵐山＝初日71ストローク）そして昨年の優勝者、永井明選手（クリアビュ＝初日73ストローク）、平間晴雄選手（鹿沼72＝初日72ストローク）であった。

1番ホール、左にバンカーがあるものの、4人ともさすがに素晴らしいショットを放ち、スター



堅実なプレーで最終日に追い上げた2位の増田選手



最終日を72で手堅くまとめ、3位に入賞した稻田選手



初日トップスタートも、惜しくも届かなかった3位の竹村選手

トをきっていった。

ハーフターンした時点では、永井選手が2番、5番、6番と3ホールでバーディを奪い、ノーボギー33ストロークと見事なプレーを展開していた。5番ホールは中山カントリークラブの名物ホールともいえる池越えのショートホールだが、永井選手はあわやホールインワンかと思われるピン手前20mにつけ、ショットの冴えを遺憾なく発揮し、この時点で2位の高橋選手と3ストロークの差があった。

後半に入り永井選手は11番ホールで初めてボギーを叩いたが、8番、9番ホールとバーディをとり追いつけてきた高橋選手との差は2ストローク。アンダーパーは永井選手一人という状態であった。目前の対戦者は高橋選手かと思われたが、惜しくも高橋選手は12番、14番、16番、18番でボギーを叩き、優勝戦線を離脱してしまう。この時点では優勝を手中に収めた永井選手だが、本人はその情報を得るすべもない。プレッシャーもピークとなってきたているのが伝わって

くる。17番ホール174ヤードではグリーン右手前のバンカーへと。バンカーショットはピン奥5ヤード。これを2パットのボギーとし、そして迎える18番ホール、さらに緊張の度を加え顔の表情もどことなく硬い。ティーショットはフェアウェイをとらえるもののセカンドショットを大きくダフってしまう。グリーンは砲台で距離をつかみにくいのか、手前25ヤードほどのアプローチショットをピン奥3ヤードもオーバーしてしまう。このパットを失敗、最終ホールをボギーで上がるという苦戦を強いられた。こうして後半は苦しみながらも72ストロークにまとめて優勝、しかも二連覇という偉業を成し遂げたのだ。そして、3組前で堅実なプレーを続け初日75ストローク、最終日は71ストローク（36・35）の増田收選手（大相模）がヒタヒタと2打差まで追い上げ2位の座を射止めた。

とかくジュニアが話題となる昨今、年齢を超えた精神力と技の一戦は永井選手の二連覇で幕を閉じた。

■優勝者 永井明選手との一問一答

—二連覇おめでとうございます。今のご感想はいかがですか。

永井 二連覇できて夢のようです。昨年ルーキーになるのを待って試合に臨み優勝を目指して練習してきました。私にとっては今回も大変プレッシャーがありました。後半でボギーを連続してしまい、最後まで優勝できるとは思いませんでした。当然アンダーのスコアの戦いになると思っていましたから。

—勝因は何だとお考えですか。

永井 私が所属しているクリアビューゴルフクラブ&ホテルは河川敷のコースですので、中山カントリークラブのような立派なバンカーはありません。私はバンカーショットが苦手ですが、アプローチは得意なほうだと思っています。ドライバーの飛距離は230ヤードほどですが、あまり曲がらないので、今日もフェアウェイをはずすことなくプレーができました。

—日頃のゴルフはどのように

永井 年間回数は80回ほどですが、冬にはジムに行き足腰を鍛えています。

年金生活ですから、週2~3回千葉カントリークラブの送迎バスの運転手をパートでアルバイトしております。昨年この競技で優勝した際に、千葉カントリークラブの皆様も喜んでくださいました。



中山カントリークラブ

古池伸吉(取締役支配人)

中山カントリークラブは昭和36年に開場いたしました。

日本アマの予選、関東アマの5ブロックの予選等々、数々

の試合の開催会場としてお受けしてきておりましたから、特に苦労したということはありません。本来当コースのメイキングリーンはコーライですで今の時期は最高に良い状態です。しかし今競技はベントグリーンの使用となりまして、今年の夏の気候状況により状態があまり良くなく、競技向きのスピードに仕上げるには無理があったように思います。悪条件の中では、まあまあのグリーンに仕上がったといって良いのではないかと思っています。

ご好意で会報に載せていただきました。そして、私のことがお客様(メンバ)にも知れることになり、皆様の応援をいただき試合に臨み、プレッシャーの中でも頑張ろうと励みになりました。大変感謝しております。私の仲間のためにも励みになるようこれからも精進したいとおもいます。

平成19年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成19年10月9日、10日 ●開催倶楽部 中山カントリークラブ 6,372ヤード パー72

エントリー135名/出場者128名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	永井 明	クリアビュー	72	72	144
2	増田 收	大相模	75	71	146
3	稲田 一男	スプリングフィルズ	75	72	147
3	竹村 昭雄	嵐山	71	76	147
5	金本 勇	岡部チサン	77	71	148
5	小宮 康彦	相模湖	76	72	148
5	肩 徳男	富士箱根	75	73	148
5	高橋 功	習志野	71	77	148
9	蔽下 武義	千葉新日本	77	72	149
9	大山 四郎	新千葉	75	74	149
9	平間 晴雄	鹿沼	72	76	149
9	川口 三夫	小田原・松田	76	73	149

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
9	小山 敏男	青梅	74	75	149
14	徳永 一充	龍ヶ崎	79	71	150
14	神村 稔臣	藤ヶ谷	75	75	150
14	小林耕一郎	富士チサン	75	75	150
17	中村 清	水戸	78	73	151
17	佐野 勝勇	富士御殿場	79	72	151
17	伊藤 進	佐倉	78	73	151
17	川島 謙扶	新千葉	74	77	151
17	中野 弘治	相模	76	75	151
17	角南 道弘	中山	76	75	151
17	河野 晃	甲府国際	74	77	151

■平成19年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—決勝競技

〈男子Aクラス、男子Bクラス〉

アンダーハンディ競技を通じて ゴルフの面白味を

—競技ゴルフ指向型が多い男子選手

文／森口 静彦(KGA広報委員)

写真／塚越 克一(KGA広報委員)

関東ゴルフ連盟の年間公式競技としては最終の競技であるアンダーハンディ決勝競技がシーズンオフを控えた11月5日(男子A、Bクラス)、12日(女子A、Bクラス)の両日にわたって開催された。

都県ブロック大会は1都、10県、11会場で開催され、男女合計1,151名が参加、男子143名、女子148名、計291名が都県ブロック大会を突破したが、決勝にエントリーしたのは男子130名、女子135名であった(本競技にシード制はない)。

本競技は創設以来13年目となるが、例年、都県ブロック大会の参加者が少なく、大会の盛り上げに苦労するところである。その対策として、競技委員会から各都県ブロック大会当たり100名以上の参加呼び掛けを行ったところ、今回は、2年前の参加者885名に対し3割増となった。しかし、まだ100名に達しないところもあり課題を残している。

決勝の会場となったのは、昭和5年、赤星六郎設計により開場した我孫子ゴルフ倶楽部(千葉県)。樹木の種類も多く、高い古木によって各ホールが広々とセパレートされ、且つグリーンも手入れが良く行き届いて目を和ませる。5日早朝には、コースに霧が立ち込め、さながら一幅の水墨画を見るような幽玄の世界であった。

本競技は、男女別々に2日に分けて開催される方式。11月5日は男子A、Bクラスの決勝が行



男子Aクラス 優勝の若林徹選手 (JGA個人会員)

われた。天候は晴れ、暑からず寒からず、絶好の秋日和。午前8時、アウト、インからBクラス、Aクラスの順で一斉にスタート。選手のスタートが完了後、本競技の現状、課題、ビジョン等について、平山競技副委員長に話を聞いた(野口委員長がJGA競技のため不在につき)。

・本競技の現況・課題について

平山副委員長：各県ごとの温度差があり、公式競技に参加してみようという競技志向の選手が少ないので現状ですが、一度、経験すれば面白味がわかるでしょう。当面、参加者を増やす事が課題ですが、J-sysで取得したJGAハンディがないとKGA公式競技に出られないことになりますので、これが普及すれば自ずから改善すると思います。また、各委員会も本競技のPRに協力して欲しいですね。

・開催時期、コース選定、経費負担の軽減策について

平山副委員長：開催時期はJGA競技との関係があり、この時期になってしまいます。開催



Bクラス優勝の仲野総一郎選手（東名厚木）

俱楽部は話題性のあるところを選んで、ゴルフを堪能してもらいたい。また、指定練習日、競技日ともメンバーフリーですし、参加費用も都県ブロック大会、決勝とも5,250円と他の競技に比べ割安ですから現状のままと考えています。

・将来のビジョンについて

平山副委員長：アンダーハンディ競技を行っているのはまだ一部の地区連盟であり、直ちに全国規模での競技はまだ早いと思いますが、ゴルフ人口拡大のため一部地区連盟間での開催を考えてもいいと思います。



次に、参加選手に参加の動機等について聞いて歩いた。通常の競技の場合、優勝候補の選手を追って、少なくともバックナインと一緒に回るのが広報委員の基本動作であるが、アンダーハンディに限っては、どの組から優勝者がでるか見当もつかない。従って、野外をウロウロするよりはハウスの中で取材するしかない。と言うわけで、既にプレーを終えた数人の参加者に声をかけて話を聞いてみた。

○五十嵐明選手（柏崎）

Aクラス、HC 12.2 8位T

長野ブロック大会盛況の裏話

長野県はブロック大会の参加者が多く、今年も参加者はダントツのトップ（因みに2位は東京の139名）。多数の参加者を集めている裏話について、会員の応援を兼ね我孫子ゴルフ俱楽部の見学に見えたハケ岳高原カントリークラブ山口浩支配人に伺った。

山口支配人：長野ブロック大会には男女合計166名がエントリーし、内35名が決勝に進出した。参加者を集めるのは大変なことであるが、県の支配人会から毎年参加を呼びかけるように要請している。また、開催俱楽部の協力が一番重要であるが、練習ラウンドもメンバーフリーでプレー可能であり年々盛んになっている。



4回都県ブロック大会に出て、決勝に出るのは、今回が最初。俱楽部対抗、県アマ、金井清一クラシック等に登場しており、競技ゴルフに関心がある。本競技もハンディ戦だから、戦えると思って参加した。有名ゴルフ場でプレーできる楽しみもある。各県の連盟がPRすれば参加者も増えるのではないか。

○小室清選手（JGA個人会員）

Bクラス、HC 16.3 11位

KGAからの案内で本競技を知り、第1回大会から出場している。県アマ、同ミッドアマ等にも出でており、競技が好きだ。自己のハンディを目標にプレーし、他のプレイヤーに混じって力を試す良い機会だと思う。名門コースをメンバーフリーでプレーできるのも魅力だ。

○田嶋幸久選手（JGA個人会員）

Bクラス、HC 15.5 21位T

県アマ、パブリックの大会等に登場しているが、仕事の関係で転勤があり、俱楽部に入会していない。仕事関係の人から本競技のことを聞いて出場した。都県ブロック大会に2回出て、決勝は初めて。

仲間内のゴルフと違って、緊張感の中でプレーするのは新鮮味があって面白い。また、プレーが終わった後のホッとした開放感も良い。

○松嶋英昭選手（小田原・日動御殿場）

Bクラス、HC 22.3 40位

俱楽部の友人、支配人に誘われて初めて参加了。初めてのコースでプレーできて面白かった。

所属俱楽部は静岡県であるが、住まいは首都圏である。

◆
以上僅かな選手ではあるが、概して競技ゴルフに关心が強く、県アマ等の経験を積んでいる人が多い。仲間内でのゴルフを一步超えたゴルフを目指している人達だ。このようなゴルファーが一人でも多く本競技に参加するようになることを期待したい。

さて、肝心の競技成績であるが、Bクラスはアウトスタート2組目で前年の優勝者の福井澄雄選手（真名）が早々に7.9アンダーをマークしてトップに出た。ところが、インスタート最終組の仲野総一郎選手（東名厚木）が9.0アンダーで優勝を決めた。仲野選手は神奈川ブロック大会でも10.0アンダーを記録し、トップでの決勝進出だったのだ。

早速、仲野選手に優勝インタビューを試みた。「今回が初出場で初優勝。ゴルフを始めたのが10年位前だが、ここ2、3年はしっかりやった。しかし、なかなか100が切れない、練習ラウンドでも105。練習ラウンドの後、バンカーとアプローチの練習を繰り返したのが良かった。競技ゴルフの面白さが分ったように思う。来年は、Aクラスで参加したい。」

Aクラスの優勝争いは、インスタート11組の若林徹選手（JGA個人会員）と神戸喜一選手（江戸崎）との間で行われた。神戸選手のグロス73に対し若林選手76と3打差であったが、ハンディの差で、若林選手が5.6アンダーで優勝し、神戸選手は3.7アンダーで2位となった。

素晴らしいコース管理の裏話



今年の夏は異常な暑さのせいで、何処の俱楽部でもコース管理には大変な苦労があった。その中で、我孫子ゴルフ俱楽部は素晴らしい状態を保っていた。吉田富士男支配人にその裏話を伺った。

吉田支配人：我孫子ゴルフ俱楽部は昭和5年開場で、今年、77年目。この7月、初めてフェアウェイに散水のスプリンクラーを設置、また、昨年から今年にかけて、バンカー、ティーインググラウンドを含め、コース全体を赤星六郎設計の原型に復元する作業を行った。グリーンはバーチカルによるカス取りを行ったところ、見違えるように良くなった。コースをセバレートしている樹木の剪定、伐採等を実施した結果、風通し、日当たりが良くなり、樹木も元気になっている。

表彰式の準備で、慌しい会場の片隅で若林選手に優勝の感想を聞いてみた。

「KGAからの連絡で本競技を知り、都県ブロック大会3回、決勝は2回目で優勝を手にすることができた。4、5年前から県アマ等に出ているが、まさか優勝できるとは思っておらず、自分でビックリしている。来年もぜひ参加したい。」

男子は競技ゴルフ指向型の選手が多いように見られた。アンダーハンディ競技をそのワンステップとして参加している選手が多いのだろう。本競技を機にシリアルなゴルファーが増加する事を期待したい。



決勝初出場五十嵐明選手（柏崎）の豪快なティーショット

■平成19年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—決勝競技
〈女子Aクラス、女子Bクラス〉

いい緊張と選ばれたコース これがアンダーハンディ競技の真髄だ

文／塙田 正 (KGA広報委員)
写真／塙越 克一 (KGA広報委員)

平成19年度第13回関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—決勝競技女子の部は、11月12日(月)我孫子ゴルフ倶楽部(千葉県)でAクラス、Bクラスとともに18ホール・ストローク・プレーで行なわれた。結果はAクラスが瀧谷知里選手(紫雲)、Bクラスが久保田早恵(チャーミングリゾート関越)が、それぞれ初優勝を飾った。

伝統あるコースで心ゆくまでプレー

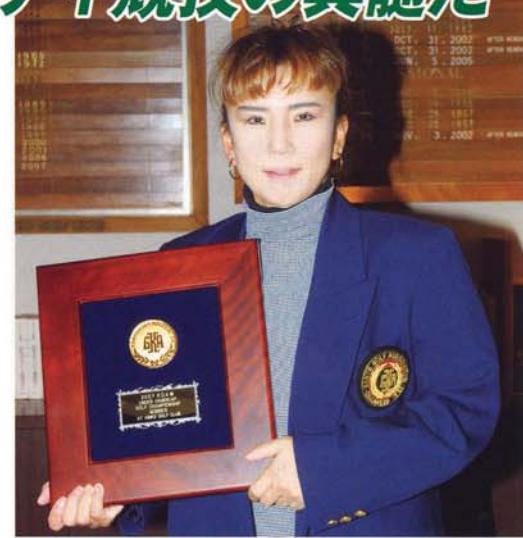
晩秋の我孫子GCは朝から蒼く晴れわたっていった。風はやや冷かったが、それでも気温は17度を超えた。絶好のゴルフ日和であった。

こんな中、この大会を待ちに待った選手たちは、足どりも軽く、8時からAクラス69名(欠場3名)、Bクラス63名(欠場3名)がスタートしていった。

スクラッチ競技なら最初の9ホールを全員がまわり終えたところで、上位選手の顔ぶれがわかるのだが、アンダーハンディだけになかなか予想が



早朝のグリーンメンテナンス。
朝露がエマールドグリーンに光る



女子Aクラス優勝の瀧谷知里選手(紫雲)

つきにくい。そこで優勝候補の顔触れ探しはやめて、スタートする選手、あるいは9ホールを上がってきた選手をつかまえては、アンダーハンディ競技の決勝競技に進出してきたその感想を聞いてみると方針を変更した。

その結果、まず感じたことは、選手たちがプレーするコースへの憧れである。毎年のことだが、決勝を争う舞台は、いずれも“名門”といわれる倶楽部ばかりだ。

新潟ブロック大会を7回目で突破、初めて決勝競技に出場した福井春子選手(柏崎A・42位T)は「海が近く風が強くて寒い新潟と違って暖いですね」と前置きして、

「素晴らしいコースでやれるので、わくわくしながらやって参りました」と喜びを隠さない。

福井選手と同じように考えている人は、ほか



Bクラス優勝の久保田早恵選手(チャーミング関越)



スタート前、緊張の面持ちの選手たち

にも沢山いた。大袈裟にいえば出場選手の8割くらいまでは、そうした感想をもっているのではないか。

その例をいくつか拾ってみよう。

中野美子選手(広陵B・45位)は「こんな立派なコースでプレーできるなんて夢のようです。しかも練習ラウンドを入れて2回もできるんですから。それにお陰さまで安くして頂いて…」と普段できないコースで、安くプレーできる喜びを素直に語る。

群馬県からはるばるやってきた武藤真由美選手(白水A・56位T)は、

「憧れの我孫子GCができるなんて夢のようです。来年もぜひ出場したい」と前泊の疲れも見せず目を輝やかす。

同じく遠距離の長野県から駆けつけた堀内節子選手(菅平高原B・11位T)は、

「私のホームコースは丘陵コースといった感じです。平坦な本当に行き届いた素晴らしいコースでプレーできて感激です。毎年、憧れのコースで開かれるこの競技には、ずっと挑戦し続けたいと思っています。」

と自分の所属するコースとは違った魅力に引かれている口調だ。

このほか、松元美幸選手(エンゼルA・50位)、石丸晴世選手(都留B・37位)も、決勝競技がいずれも素晴らしいコースでの開催になることに大きな誘引があると語っている。

緊張感で冴えたプレー

決勝競技にもう一つ大きな誘引を見つけるとすれば、それは緊張感への誘いであろう。

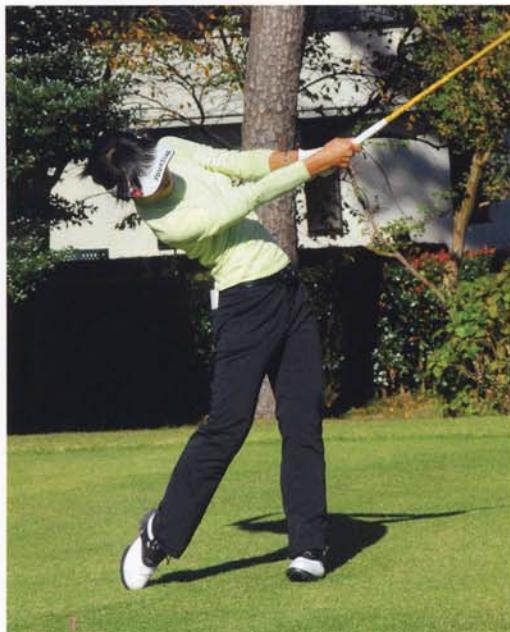
「M」という大きな英字をボールに印して「絶対に誤球を避けたい」といっていた石原麻里選手(白帆A・13位)は、

「自分のコースでプレーするときは、こんなに緊張しませんね。初めての参加のせいかもしませんが、大変緊張しました」とふだんのプレーと緊張の度合が違っていることに驚く。

来年日本女子オープンを開催する大利根CCの本田真理子選手(大利根B・48位T)は「自分に挑戦することを忘れないように」と、いい聞かせながら、

「緊張しました。一打一打きちんと打たなければという気持になりました」と挑戦意欲をさらに駆りたてられたという。

この日の平山誠一競技副委員長は、



最年少の金宮美司選手（JGA個人会員）

「緊張のある試合に病みつきになってもらいたいですね。試合慣れということは大事ですし、それがやがてはさらに上の公式戦出場への突破口になると思います」

と、ほどよい緊張感でプレーする環境に馴れる

ことを勧めている。

緊張感といえば、最年少の金宮美司選手（JGA個人会員A・19位タイ）と最年長山崎満江選手（多摩B・14位）も、それぞれに違った感想を胸に秘めていた。

金宮選手は19歳。高校（埼玉栄高）のゴルフ部出身で、プロを目指している俊英だ。同校の先輩には、三塚優子選手、下村真由美選手、頓所由夏選手などのプロ選手がいる。金宮選手はこうした先輩たちの後を追う形で近い将来プロを狙う。

その金宮選手は、意外にもこの決勝競技に強い緊張感を覚えたという。

「スクラッチ競技では、それなりのレベルで戦えますが、アンダーハンディではハンディが

少ないぶん（12）、各ホールでよいスコアを出そうと懸命になるんです。緊張のしまくりでした」と、初出場の感想をこう語ってクラブハウスを後にした。

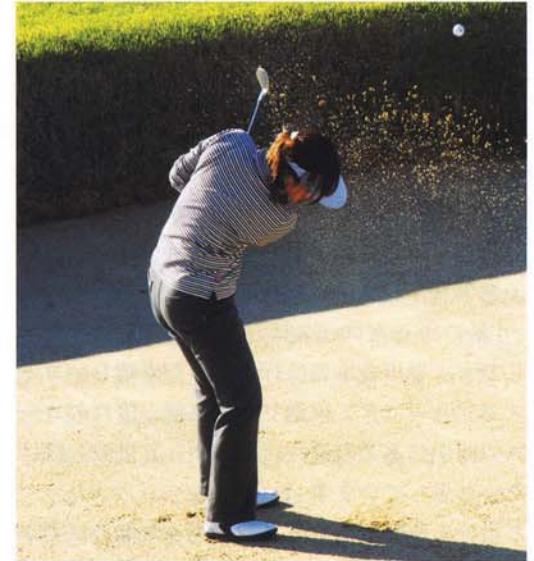
最年長者山崎満江選手は、2人のお孫さんに「頑張ってね」と送られて家を出た。

「いまは仕事とゴルフで健康管理をしています。家の材木店の会計をみながらゴルフを楽しみにしているんです。この歳でこの決勝競技に出られるなんて有難いと思っています。しかし、まだまだ若い者に負けない気持だけは持っています。それが私にとって、いい緊張感になっていると思います」

と口でこそ「ゴルフで健康第一」というが、その顔にはまだまだ若い人には負けない気概がみなぎっていた。

こうしてアンダーハンディ戦を制した

さて、ここで成績のほうに目を転じてみると、



我孫子の深いバンカーに挑む

Aクラスで勝ったのは、瀧谷知里選手（紫雲）。アウト37、イン40、計77、ハンディ8.7、ネット68.3という立派なスコアだ。

2位の千野選手はインを37でまわり、アウト42の挽回をはかったが、グロス79、ハンディ10.5、ネット68.5で、わずか0.2差で2位となり、涙をのんだ。

優勝した瀧谷選手は、つぎのように戦いぶりを振り返る。

「アンダーハンディ競技は、個人が直接ゴルフと向き合えるという場だと思います。ハンディがあるからという甘えも許されませんし、ハンディを無視した無理な戦術も通用しません。これがアンダーハンディ戦の本質だと思います。これからも続けて出たいと思っています」と自分なりのアンダーハンディ戦の戦略をこんなふうに解剖する。

なお2位になった千野理恵選手（白水）は、5番ホール（333ヤード、パー4）でバンカーに入れ、グリーンを往復、合計「8」を叩いたが、2、10、14番ホールでバーディをとり、2位の座を守った。

「感想は素晴らしいコースでやれたことです。ご一緒の方とは楽しくやれたり、気持としては80台でまわればいいと思っていたが、2位にはいれてこんな嬉しいことはありません」と素直に喜んだ。

そして「やがては関東の本舞台へ」と水を向けると、やんわりと「そんなレベルではありません」という答えが返ってきた。

Bクラスの優勝者は久保田早恵選手（チャーミング関越）。スコアは本人が「すべてがうまくいった」という通り、自己ベストに近い83で上がってきた。ネットは実に61.0という素晴らしいもの。「緊張の大試合で、よくこんないいスコアでまわれたと思っています。運もありました。チョロしたあと、ナイスショットが出て、パーにつながったりというのがそれです。とに

かく自信がつきました」と、初出場、初優勝の喜びをこう語った。

2位の宮入京子選手（グランステージ丸子）のスコアはネット63.0。優勝の久保田選手に2ストローク及ばなかったのだが、明るくつぎのように語った。

「何がよかったです」というとバンカーショットですね。ふだんなら出ないようなバンカーからみんな一発で出ました」

と我孫子ゴルフ俱楽部に点在する恐怖のバンカーを克服しての2位であった。

以上のほかにも多くの選手からお話を頂いたのですが、残念なことに紙数の都合でその言葉を載せられない人たちもいる。だが、一様に選手たちの顔は明るく、目はキラキラと光っていた。こうした19歳から70歳過ぎまで、広い範囲のプレーヤーを集めたアンダーハンディ選手権こそ、大事に育てていく必要があるような気がしてならない。



みんな揃って華やかな女子の部の表彰式



Bクラス2位の宮入京子選手（グラン丸子）

平成19年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—決勝競技

●開催日 男子：平成19年11月5日 女子：平成19年11月12日

●開催会場 我孫子ゴルフ俱楽部

男子Aクラス 6,576ヤード パー72

男子Bクラス 6,576ヤード パー72

女子Aクラス 5,812ヤード パー72

女子Bクラス 5,812ヤード パー72

男子Aクラス エントリー 71名／出場者 68名

順位	選手名	所属	GROSS	HC	NET
1	若林 徹	J G A個人会員	76	9.6	66.4
2	神戸 喜一	江戸崎	73	4.7	68.3
3	田中 正則	J G A個人会員	77	8.4	68.6
4	飯田 邦雄	唐沢	81	11.7	69.3
5	小林 定雄	ロイヤルオーツク	78	8.5	69.5
6	石井 富夫	埼玉	75	5.4	69.6
7	一之瀬方賀	グラントステージ丸子	73	3.4	69.6
8	上杉 昌祺	石地シーサイド	78	8.2	69.8
9	五十嵐 明	柏崎	82	12.2	69.8
10	友野 弘章	ユニオンエース	78	7.5	70.5

男子Bクラス エントリー 59名／出場者 59名

順位	選手名	所属	GROSS	HC	NET
1	仲野綾一郎	東名厚木	93	30.0	63.0
2	福井 清雄	真名	84	19.9	64.1
3	高田 治	青梅	83	15.3	67.7
4	小野沢邦夫	グラントステージ丸子	82	14.1	67.9
5	加納 和也	東名厚木	86	18.0	68.0
6	野中 克俊	鶴	89	20.7	68.3
7	内山 一	南千葉	82	13.1	68.9
8	木村 尚宏	小田原・松田	83	13.7	69.3
9	藤井 卓	パークリエイ	85	14.9	70.1
10	渡邊 德幸	望月東急	86	14.9	71.1

女子Aクラス エントリー 69名／出場者 66名

順位	選手名	所属	GROSS	HC	NET
1	滝谷 里知	紫雲	77	8.7	68.3
2	千野 理恵	白水	79	10.5	68.5
3	山口真美子	J G A個人会員	84	13.5	70.5
4	菊田 夏子	小田原・日勤御殿場	86	15.4	70.6
5	徳島 妙子	新発田城	83	11.8	71.2
6	林 ツヤ子	大厚木	85	13.6	71.4
7	清水 修子	新発田城	83	11.6	71.4
8	小澤千恵子	白水	82	10.5	71.5
9	野田 啓子	ユニオンエース	86	13.3	72.7
10	吉田 真理	大相模	83	10.0	73.0

女子Bクラス エントリー 66名／出場者 63名

順位	選手名	所属	GROSS	HC	NET
1	久保田早恵	チャーミング関越	83	22.0	61.0
2	宮入 京子	グラントステージ丸子	87	24.0	63.0
3	矢島ひろみ	府中	89	22.8	66.2
4	佐藤 浩子	白水	89	21.2	67.8
5	岩田 恵子	大利根	90	18.7	71.3
6	丸山 君江	界仙峡	87	15.6	71.4
7	柴野 恵子	鶴舞	93	21.4	71.6
8	齋藤あけみ	J G A個人会員	95	22.7	72.3
9	我孫子真樹	神奈川ゴルフ協会	90	17.4	72.6
10	山田 夏	白水	98	25.2	72.8

順位	選手名	所属	GROSS	HC	NET
10	佐原 武	穗高	81	10.5	70.5
12	池田 正和	横浜	77	6.3	70.7
12	藤井 雄昌	東名	82	11.3	70.7
14	内藤 久昭	八ヶ岳高原	75	4.2	70.8
15	星原 昌廣	相模野	78	7.0	71.0
16	荒井 孝二	エヌゼル	82	10.7	71.3
17	木村 浩貴	初穂	78	6.4	71.6
18	浅田 政男	長瀬	80	8.3	71.7
18	佐藤 和博	G M G八王子	83	11.3	71.7
20	増渕 正己	東宇都宮	80	8.1	71.9

順位	選手名	所属	GROSS	HC	NET
11	小室 清	J G A個人会員	88	16.8	71.2
12	佐藤 良友	中条	86	14.5	71.5
13	兵藤 廣明	高山	86	14.4	71.6
14	内藤 吉文	昇仙峠	88	16.3	71.7
15	小川 悟	ゴールド佐野	85	12.7	72.3
16	田中 陸	八幡	85	12.5	72.5
17	恩田 篤行	鶴舞	87	14.4	72.6
18	菅野 英夫	神奈川ゴルフ協会	86	12.9	73.1
19	今泉 隆	唐沢	87	13.8	73.2
20	三瓶正次郎	神奈川ゴルフ協会	91	17.7	73.3

ゴルフ場協会が先頭になって活発な利用税の減免運動

1都10県の

加盟俱楽部の活動状況を聞く
第9回 静岡県

特別対談



関東ゴルフ連盟常務理事 伊藤 淳氏

インタビュアー／高橋正孝(KGA広報委員長)

カット／山縣和彦



伊藤淳氏

高橋 毎回、この対談では各都県の代表者に、どのようなゴルフ団体があり、どのような活動をされているのか。その現状を紹介していただいております。

今日は、伊藤さんから静岡県について、ゴルフ場を中心とした活動内容をご紹介していただこうと思います。よろしくお願いします。

伊藤 こちらこそよろしくお願いします。

高橋 まず基本的なことを確認させてもらいまます。静岡県のゴルフクラブは基本的に天竜川を境に、東は関東ゴルフ連盟、西は中部ゴルフ連盟に加盟しているんですね。

伊藤 ええ、そうです。これは、いわゆる商圏がまったく違うからなんです。静岡県は東西に亘る大きな県ですから、同じ静岡県のゴルフ場でも、東名高速の沼津インターまでのコースは、利用者の80%は東京方面からのお客さんです。一方、天竜川以西、つまり浜松周辺のゴルフ場は地元と名古屋方面からのお客さんが中心だからなんですね。

高橋 それで静岡県ゴルフ場協会というのは、

KGAの加盟区域と同じ天竜川までのゴルフ場の団体なんですね。伊藤 ええ、そうなっています。静岡県ゴルフ場協会について簡単にご説明しますと、社団法人の組織で、KGA加盟、非加盟に拘らず、静岡県全体の協会で約90のゴルフクラブが加盟しております。実際の活動は4つの支部に分かれています。御殿場を中心とした東部地区。ここには約20クラブが加盟しています。次に沼津から富士宮周辺の中西部地区で、20クラブ余り。静岡から天竜川までの西部地区に約25クラブ。それと伊豆地区で、ここは25クラブほどが加盟しています。組織図では、会長(木村襄司氏)の下に4人の常務理事があり、それぞれが各地区の支部長を兼務しています。

高橋 それで、各支部ではどのような活動を実際にやりなんでしょうか？

伊藤 まず、地区ごとに経営者会議という経営側代表の集まりを年に3回実施しています。そのほか支配人会議。これも年3回。それと、グリーンキーパーなど実務担当者の会合が、視察プレーも兼ねて、同じく年3回行われています。ただし、協会にはゴルフ場以外のゴルフ関連企業が協賛社として加盟しているのですが、この協賛社を交えた定期的な会議、会合は行われていません。これは、今後の検討課題ではないかと思っています。

高橋 そうした検討課題はあるにしても、現在



の運営の成果は上がっておられるようですね。

伊藤 そうですね。特に支配人会議の意義は大きいと思います。これにより各地区とも、支配人の横の連絡が密になり、あらゆる情報が共用されるようになりました。

高橋 それはいいことですね。病害虫の発生などコース管理の点からも、ゴルフクラブ間の情報が密に行き交うというのは大変有効ですね。

伊藤 ええ。コース管理の情報は、常に連絡を取り合うようになっています。また、売上などの経営情報まではディスクローズできませんが、入場者数は支部ごとに取りまとめられ、一覧表で各ゴルフ場に配布されています。それで各コースとも利用者数の動向を掴むことができます。

高橋 他の支部の入場者数は?

伊藤 それは支部長どまりです。各支部長には、協会の全加盟コースの入場者数が知らされています。

高橋 その他、ゴルフ場協会の活動としては?

伊藤 利用税の減免運動は、ゴルフ場協会が先頭になって行っています。その点では、比較的活発なゴルフ団体だと思っています。

高橋 その減免活動ですが、その成果で4年前に70歳以上の高齢者や18歳未満のジュニアなど

一部の利用税が撤廃されましたが、利用者の増加にはつながったでしょうか。

伊藤 残念ながら、目に見えた変化はありませんね。

高橋 そうですか。ちなみに県によっては、別途65歳以上は利用税を半額にする特別処置を実施しているところもありますが、静岡県では?

伊藤 それはないですね。70歳以上の免税だけです。

●薄いKGAとのつながり感

高橋 KGAとの関係という点では、いかがでしょうか。

伊藤 実は、一般にKGAと関係しているという意識はほとんどありません。ですから、KGA加盟俱楽部による会議・会合というのは、これまで行われていないんです。

高橋 そうでしたか。

伊藤 今後はKGAの活動方針に沿った活動もすべきだとは思っていますが、その具体的な手順まではまだ考えられていません。

高橋 現在、KGA加盟俱楽部はどれくらいありますか。

伊藤 全体の約半分、45俱楽部ほどです。

高橋 そのうちKGAの俱楽部対抗に出場している俱楽部は?

伊藤 今年は21俱楽部です。非常に少ないですね。

高橋 何か特別な理由がおありなんでしょうか?

伊藤 先ほども言いましたように、KGAの活動に余り関心がないんですね。特に西部地区は25俱楽部がありますが、KGA加盟はたった4俱楽部だけです。ですので、まずはKGAに関心を持ってもらって、加盟してもらうことから始めなければいけないと思っています。

高橋 KGA未加盟ということは、オフィシャ

ルHdcpの普及も進んでいないんでしょうね。

伊藤 ええ。ですから、KGA主催のアンダーハンディ競技の出場者数も少ないですね。

高橋 全般に競技志向のメンバーが少ないとということなんでしょうか?

伊藤 それもあると思います。俱楽部競技に積極的ではない俱楽部が増えつつあるようです。

高橋 それは残念ですね。

伊藤 今は少子化の時代ですし、今後はゴルフ人口の多い“団塊の世代”が徐々にゴルフから離れていくことを考えると、今こそゴルフへの関心を呼び起こす抜本的な対策をとる必要があるんじゃないでしょうか。つまり、競技志向のゴルファーだけではなく、若い人全般に向けて。

高橋 確かにそうですね。さまざまな競技を企画して、競技ゴルファーを増やすと同時に、底辺拡大にも努める必要があるのでしょうね。

伊藤 ええ、そう思います。

高橋 KGAとしましては、ハンディキャップ普及のためのさまざま工夫をしているところなんです。例えば、「KGAゴルファーズカード」の会員は俱楽部メンバーでなくてもHdcpを取得できます。また、都道府県のゴルフ協会に所属するとか、パブリックコースの利用者でも取得できる制度になっています。こうした制度への反響はいかがでしょうか?

伊藤 静岡県では、実際のところ、まだ俱楽部Hdcpを独自に査定している俱楽部が多いんです。そうしたなか、オフィシャルHdcpを取ろうというのは、やはり一部の競技志向の方に限られますから。

高橋 そうですか。

伊藤 各俱楽部が俱楽部Hdcpを廃止すればいいんですが、なかなかそうもいかないでしょうね。

高橋 そうでしょうね。実際、廃止反対の声が



依然大きくて……、という話しがたくさん届いてますからね。

伊藤 早急にオフィシャルHdcpに一本化するのは難しいですね。

●アマ競技主催者との協力

高橋 ところで、静岡県ではアマチュアの競技会が盛んに行われているという印象があるので。静岡新聞さん主催の大会は盛んという話ですが。

伊藤 実は、他の団体とのコミュニケーションは余り取れていないもので、詳しくは存じ上げてないんです。

高橋 そうでしたか。

伊藤 そこで、今は団体間が疎遠になっている状況をどうしたらいいのか検討しているところです。

高橋 連絡を取り合うきっかけとして、静岡新聞さんの主催競技に、まだKGAの後援が付いていないようであれば、後援を提案してみてはどうでしょうか。

伊藤 なるほど。静岡県ゴルフ場協会ではなく、KGAの後援ですね。実は、県内のアマチュア団体や競技会の横の連絡会議を、ゴルフ場協会ではなく、KGAが中心となってやっていくけたらと考えていたところなんです。

高橋 KGA後援となれば、各競技会にKGAから競技委員を派遣するといった形で、つながり

ができますから。

伊藤 それは検討してみます。KGAが競技委員に加わることで、参加者のその競技会に対する意識は変わるでしょうし、安心感も生まれますからね。

高橋 さらに、競技会の上位者には関東アマの出場資格を与えるといったことができれば…。

伊藤 そこから、より密な関係に広がるといいですね。

高橋 まずは少しずつアプローチをしていけば、いいんじゃないでしょうか。

●ジュニアに対する活動

高橋 次に、ジュニアの育成活動ではどのようなことを？

伊藤 ジュニア育成委員会を組織し、各コースにジュニア育成活動の日程を提出するようお願いしています。

高橋 インストラクターというか、指導者は？

伊藤 多くのコースに所属プロがおりますので、多くはプロが指導しています。

高橋 最近はゴルフ部のある中学・高校が増えましたが、関係者によると、部活ではどうしても学年が進むほどにやめていく部員が増えるそうですね。

伊藤 それは仕方がないでしょうね。どの競技でも同じでしょうね。

高橋 そうですね。ただし、ゴルフの場合は部活をやめたからって、ゴルフから完全に離れる人は少ないでしょう。そこで、部活から離れた若者をゴルフ場が呼び戻すことはできないだろうかって考えているんです。もうひとつ、ジュニアに関係したことでは、最近は小学生にゴルフを習いたがる子が増えているんです。

伊藤 ええ、そうですね。

高橋 小学生の指導では、ほとんど両親が同伴

することになりますね。小学生の両親というと、30代を中心。ゴルフ人口が最も少ないといわれている層が20代～30代ですから、ゴルフに関心のある小学生と一緒に、ゴルフをしたことのないその両親を巻き込むことができれば、とも考へているんです。

伊藤 それは面白いですね。

高橋 実は埼玉県でやっているんですよ。できるだけ、ゴルフをしたことのない両親とセットで教えるようにしています。すると、子供の方が上達が早いこともあって、子供が親を教えるといった、微笑ましい関係も見られるそうです。

伊藤 ハハハッ、それは面白いですね。

高橋 ところで、KGAではこうした普及活動に対して、県単位でわずか80万円ですが、補助金を給付しています。80万円ですから、各ゴルフ場で分けてもしょうがないので、県をあげての活動の援助にでもなればと考えています。静岡県では、どのように遣っているのでしょうか？

伊藤 先ほども申しましたように、静岡県はKGA加盟倶楽部が少ないので、そこだけ配るわけにもいかないんです。ゴルフ場協会のごく一部に配分することになりますから。それで、補助金の80万円はまだ一度も使ったことがないはずです。

高橋 そうでしたか。でも、せっかくですから何か有効な利用を。

伊藤 でも、KGA非加盟倶楽部が半分も参加するようなイベントに使うわけにはいかないのでは？

高橋 いえいえ、そんなことありませんよ。ゴルフの普及活動であれば、非加盟倶楽部が多くても構いません。

伊藤 ああ、そうですか。実は、何とか使うことはできないかと考えていたところなんです。それでしたら、有効に遣わさせてもらいます。

●女子競技開催は検討課題

高橋 女性のゴルフ熱はいかがなんでしょうか？

伊藤 今日は手元に詳しい資料を持ってこなかったんですが、女性客の割合はそれほど多くはないと思います。ただ、最近増えつつあることは間違ひありませんね。

高橋 そうでしょうね。

伊藤 それと、どのゴルフ場も同じように増えているわけではなく、コースレイアウトによって違いがあるようです。フラットでスコアがまとめ易いコースで、より女性客が増えているように思います。

高橋 あと、乗用カートのコースの方が人気があるのでしょうか？

伊藤 そうですね。もうひとつ、倶楽部の運営によっても違いがあるようですね。

高橋 そうでしょうね。古いクラブと、女子の施設が狭くて、それで女性客が増えないゴルフ場もあると思います。最近は、多いところでは13%とか、14%という割合になっているようですが……。

伊藤 うちも、もちろん平均で10%は超えていましたし、13～14%より多いゴルフ場もあります。

高橋 女性の倶楽部対抗は実施されているんですか？

伊藤 それはまだです。

高橋 女性の競技志向は、少ないですか？

伊藤 そうでしょうね。そうした提案もまだ聞かれませんから。

高橋 これからですね。

伊藤 ええ、KGAの協力で先に競技を作っちゃうのも、一つの手でしょうね。

高橋 例えば、KGAのアンダーハンディ競技の静岡県予選、兼静岡県大会をやってもいいでしょうね。アンダーハンディ競技なら、倶楽部

メンバーでなくともHdcp取得者なら誰でもオープンで参加できますから。

伊藤 そうですね。女子の競技は検討したいと思います。

高橋 今の女性は活動的ですし、経済的にも余裕のある人が増えていますから、より普及を進めたいですね。

伊藤 多くの倶楽部が、女性客の集客を経営上の重点ポイントにしているはずですから、協会でそれをバックアップすることも必要でしょうね。

●多様なゴルファーに対する施策

高橋 最後にKGAに対する要望がありましたら、ぜひ聞かせてください。

伊藤 これと言つて特別あるわけではありませんが、まずKGA加盟倶楽部を増やす方法を考えるべきなんでしょうね。でも、静岡県の傾向としては、パブリック的な営業を強めたゴルフ場が増えています。そうしたなか、KGA加盟の魅力が倶楽部対抗に参加できるという認識だけでは、（パブリック色が強く）競技志向の少ない倶楽部にとっては、加盟の魅力を感じられません。ですから、他の魅力をアピールしなければならないのですが……。

高橋 確かに、そうなりますね。

伊藤 これは私共の富士カントリークラブのメンバーさんを見ての私見ですが、うちのメンバーさんがゴルフをやられる理由は、大きく3つあるようです。まず、上手な人に多い競技志向。それから、友だちとゴルフを楽しみたいと



高橋 KGA 広報委員長



いう、友だち中心のレジャー志向。そして俱楽部でゴルフを楽しみたいというクラブライフ中心のレジャー志向。この3つがはっきりと分かれているんです。メンバーになった目的がまったく違うわけなんです。それで、厳密なJGAハンディキャップ申告は、競技志向の一部のメンバーにお願いするだけにとどめ、それ以外のメンバーには適用しなくてもいいだろうという意見があるんです。

高橋 なるほどね。

伊藤 うちは70歳以上のグランドシニアのメンバーも多いんですが、その年齢になると会社員時代の友だちとプレーする機会が減り、一緒にプレーするメンバーがそろわない。だから、グランドシニアのコンペを企画してくれという声があつて実施したんです。その際のハンディキャップですが、当然、多くは年に10枚のスコアカードは提出してませんから、実力Hdcpは分からない。だったら新ペリアにして、競技ではなく懇親会目的の親睦コンペにしたんです。すると、第1回大会には60人も集まりました。

高橋 60人も、ですか。

伊藤 ええ。さらにその後100人以上になって開催が難しくなったこともありました。ですから、ゴルフを盛んにするのであれば、Hdcpの

運営も柔軟に、多様化してもいいんじゃないかと……。

高橋 確かに、ジュニアに対しては、競技プレイヤーを育成するだけではなく、ゴルフの楽しさを知ってもらって普及させるという活動をしています。その点からすると、大人に対しても競技だけではない、普及の方法を探すべきかも知れませんね。

伊藤 そうなんですよ。ゴルフの楽しみ方はいろいろあって、おそらく80%前後のゴルファーは競技以外の面白さに引かれてプレーしているんだと思うんです。別にこれはKGAに対する要望ではなく、KGAに新ペリアの大会を開けて言っているわけではありませんけど(笑)。

高橋 ハハハッ。なかなか難しい問題ですが、将来的には幅広いゴルファーに参加してもらえる催し、イベントも企画すべきかもしれませんね。競技ではなく、イベントを。

伊藤 うちのグランドシニアコンペですが、コンペの後、懇親目的のパーティを開くんですが、ほとんど参加者が最後までいて、懇談しています。そして、そこで仲良くなつてメンバーさんが、後日一緒にプレーする姿が見られます。

高橋 それはいい話ですね。静岡県にはリゾートコースから競技志向の強いゴルフ場まで、あらゆるゴルフ場がありますから、いろいろな競技やコンペ、イベントを開催され、いろんなゴルファーの要望を吸い上げられると思います。是非その情報をKGAの方にもお伝えてください。

伊藤 はい。KGAもこれからは、あらゆる層のゴルファーの目をひきつける努力が必要だと思います。そうなれば、ゴルフ場もKGA加盟に関心を寄せると思います。

高橋 そうです。そのためのご協力を、是非お願いいたします。今日はありがとうございました。

■平成19年度主催競技を振り返って

競技参加者の著しい増加を今後の踏み台に

文／加藤 重正（関東ゴルフ連盟事務局長）

平成19年度の主催競技を振り返ると、本年は大きな変化の時期に入ったと思われる。その要因はいくつかあるが、何と言っても一番に挙げられるのは、大きく注目を浴びた「関東アマチュアゴルフ選手権」（以下関東アマ）である。

関東アマは、石川遼選手がプロツアー最年少優勝をした直後の競技であったため、世間やマスコミで話題を独占した。当初は、これほど大きな反響になるとは認識していなかったが、開催日が近づくにつれて、マスコミを中心に問合せが殺到し、KGAとしてもその反響に対して応ずる必要性を感じ、急遽マスコミ対策や運営の諸準備に入った。開催当日を迎えると、その反響は予測を遥かに超えるものであり、一つの社会現象となつたことは皆様もご承知の通りである。

アマチュア競技では異例な状況であったが、競技委員会の適切な運営と管理、広報委員会のマスコミ対応、そして開催倶楽部である千葉カントリークラブの迅速な対応等々、全ての力が結集し、その結果整然と運営ができたと考えられる。

嵐のような4日間が過ぎて得られた事は、ゴルフに関心のない多くの人々が観戦したことにより、アマチュアゴルフのレベルの高さと真剣さが認識されたことが挙げられる。

そして二番目には、KGA主催競技への参



大ギャラリーと取材合戦。関東アマの風景

加者急増の現象が挙げられる。平成19年度は前年より2会場増やしたもの、実質的には参加できない選手が多かったことから、平成20年度は5会場増を予定している。

増加傾向の内容を見ると、「関東ミッドアマ」から「関東グランドシニア」までの中高年齢層の選手が増加している。団塊の世代のライフスタイルが変化し、競技志向の意欲が出てきたことも一因であろう。それに加えて、競技委員会の公正な競技運営と厳正な管理、また開催倶楽部の万全な受け入れ態勢が整っているという事が考えられる。今後も競技の内容を充分に検討し、競技委員会の管理能力と運営能力の向上を常に意識することで、同様な傾向が継続されていくことと思われる。

以上、平成19年度の主催競技を振り返り大きな転換期に差し掛かったように考えられる。



参加者が急増しているグランドシニア

■「関東アマチュアゴルフ選手権」の取材をめぐって

ゴルフを理解し スポーツとしての 取材を

高橋 正孝（広報委員会委員長）

本年の関東アマチュアゴルフ選手権競技の決勝は6月4日（月）から7日（木）まで千葉県の千葉カントリークラブ梅郷コースで行なわれた。競技の詳細はKGA NEWS No.95に掲載したので参照いただきたい。

今回の決勝競技に、5月に行なわれたプロゴルフトーナメントで優勝した15歳のアマチュアゴルファーがエントリーしていることで、開催前から数多くのメディアから取材の照会がKGA事務局及び千葉カントリークラブに寄せられていた。競技が始まり4日間で1万3千名近いギャラリーを記録し、また、競技及びその前後の状況について、ゴルフ場で取材に当たったメディア数は、当初の予想した20社程度をはるかに超え、46社65名であった。これに加えて用具メーカー8社が毎日来場された。



石川選手を追う大観衆とカメラマン



1. 取材参加メディア

テレビ局で8局21名、ニュース配信者及び新聞社が15社19名、週刊誌8社8名、ゴルフ関係誌13社15名、その他2社2名がほぼ毎日取材に参加された。KGAでは事前の取材申込に対し、FAXで競技取材マニュアル、ゴルフ場近辺地図、コースレイアウト、予選ラウンド組み合わせ等を配信し、ゴルフ場での取材登録の際にも同様の資料を提供し秩序ある競技取材に協力をお願いした。

これだけの数のメディアと取材担当者に対応するため、KGA広報委員会全員が梅郷コースに毎日出向くことになった。また、予定していなかった共同インタビューのブースを開催直前に設置し、毎日競技終了後のメディア・インタビューをこなした。今回参加されたメディアの中には、普段あまりゴルフ競技に縁がないと思われるメディアもあったが「時の人気者」を追いかけ来場されたものと推察される。KGA広報委員会としてはメディアの取材が増え、これによりギャラリーも増えることは今後のアマチュアゴルフ界の活性化に意義があるとして、こうした大勢のメディアを受け入れたのである。

2. 取材上の問題

こうした取材への対応はKGAとして関東オープンゴルフ選手権中止以降経験のないことであったが、千葉カントリークラブをはじめ関係者各位の協力もいただき一応の準備が出来たものとしていた。しかしながら、練習日と競技第1日目に予期しなかった問題が発生した。

練習日に来場していた選手に対し、競技中マイクを携帯するようコンタクトしたメディアがあった。当該選手の判断で、その場でこの申し出を拒否し実現しなかったケースである。また、競技第一日の競技スタート時からゴルフ場上空にヘリコプターを飛ばしテレビの空中撮影を始めたメディアがあった。

その騒音はプレイヤーのみでなく、ゴルフ場周辺民家や取材メディアに迷惑をかけたものである。もちろん、KGAとしては事前にこのような取材方法の申し入れを受けておらず、また申し入れがあったとしても許可出来ない取材手段である。

3. KGAの対応

ヘリコプターの件は、直ちに担当局に中止の申し入れをし、1~2時間後には基地にヘリコプターを戻したようであった。また、マイク携帯の件は実現しなかったとはいって、対象になった選手にとっては大変迷惑で不愉快なことでもある。

KGAは競技の会期中に競技会場で担当局に

対し、引き起こした問題に対して関係者への速やかな謝罪と今後の対応方針の提示を求め、同時に局の責任者にも同様の要求をもって折衝した。数回の折衝を重ね、まず競技取材を企画した番組の中で状況説明を行なった上謝罪すること、また、選手に対して当人が充分納得出来得る内容の謝罪をすることになった。KGAには責任者が謝罪の書面を持ち来訪され、これらの経過を確認した上で問題の決着をつけることになった。

4. 今後の取材に当って

「関東アマ」の取材の経過を通して、大手メディアにはスポーツ局以外の部署からの参加が見られたが、同じ局内でゴルフ取材に精通しているスポーツ局経由で情報を入手され、取材の重複をさけるようお願いしたい。

平成20年度「関東アマ」が果たして平成19年度と同じ位ギャラリー、メディアが集まるかどうかは不明であるが、アマチュアが対象で、

しかもデリケートなスポーツの一つであるゴルフの取材には、そのことを良く理解した「スポーツ取材」を歓迎するものである。

終わりに千葉カントリークラブ、(財)日本ゴルフ協会(JGA)、(社)日本ゴルフトーナメント振興協会(GTPA)等の皆様にご指導をいただき、本紙をかりて御礼申し上げる次第である。



開催クラブの上空に飛來したメディアのヘリ

新規加盟倶楽部紹介

霞ヶ浦カントリー倶楽部〈準会員〉



1. 倶楽部名 霞ヶ浦カントリー倶楽部

住 所 〒311-3501

茨城県行方市芹沢1000

電 話 0299-55-2311

F A X 0299-55-2905

2. 開場年月日 昭和61年10月26日

3. 理事長 豊田 章一郎

4. 支配人 甲 貴但(かぶと たかひろ)

5. 倶楽部概要

霞ヶ浦湖畔のどかな景色が開き、高低差7ドッグの林間コース。8つの池とクリーク、白砂のバンカーを戦略的に配置し6,798ヤードバー72の設定。

2005年、2006年とJGTO公式戦セガサミーチャレンジ開催コースとなっており、アクセスは、常磐自動車道千代田・石岡ICより21キロ（約30分）。電車では常磐線石岡駅よりお車で約30分。

さて、アウトコースは比較的思い切って打っていけるホールとなっており、No.1ホール、558ヤードとドライバーに自信がある方なら2オンも可能だが、グリーン右サイド奥には池が待っており正確なショットが求められます。

No.7ホール、浮島のティーグラウンド402ヤード、ダイナミックに攻めて行きたいがグリーン奥のバンカーと池には十分ご注意ください。

インコースはホールを重ねるごとに難易度が上がりチャレンジ精神が必要で、弱気になるとバーンジさんが逃げていきます。

No.10ホール、思い切って打ち出せる広いフェアウェイの405ヤード。セカンドは、ショートしやす

いので大きめのクラブで打つのがポイントです。

No.14ホールは、485ヤードバー5の名物ホール、攻めて林越えを取るか安全策を取るか、右ドッグレッグのロングホールです。

No.18ホール、超難関アイランドグリーン406ヤード。ティーショットをベストポジションにキープできたら2オンも狙えるが、キープできなければ3オン狙いがスコアをまとめるポイントです。グリーンはサンドグリーン ペンクロスベントのワングリーン、ティー、フェアウェイは高麗芝、ラフは野芝を使用しています。

心地よい緊張感と格調が同居した18ホールズが最上級の時間を満喫させてくれます。

オリムピック・カントリークラブ レイクつぶらだコース〈準会員〉

1. 倂楽部名 オリムピック・カントリークラブ
レイクつぶらだコース

住 所 〒367-0118

埼玉県児玉郡美里町大字広木字
万馬谷2461番地1

電 話 0495-76-5301

F A X 0495-76-5339

2. 開場年月日 平成19年4月20日

3. 支配人 那須 伸介

4. 倂楽部概要

オリムピック・カントリークラブ レイクつぶらだコースは、関越自動車道「花園I.C.」からわずか15分、埼玉県児玉郡美里町に位置する新設コースです。周辺には、ワカサギ釣りや約600本を有する桜の名所として有名で、当コースの名称の

由来ともなりました円良田湖や、長瀬渓谷があり、都心に隣接しながらも豊かな自然に囲まれたすばらしいロケーションを誇ります。

コースは、帝王ジャック・ニクラス率いるニクラスデザイン社が設計を担当。周辺の景観に溶け込んだ美しく、フェアで、戦略性に富んだコースは会員の皆様からも賞賛を浴びております。遠く赤城山から筑波連山までを一望できる絶景の7番ミドルホール、円良田湖をイメージした巨大な池に隣接、ビーチバンカーが美しい16番ショートホールは難易度も高く、すでに当コースのシグネチャーホールとなっております。

クラブハウスは日本を代表する建築家坂倉竹之

新規加盟倶楽部紹介

介先生によるモダニズムを意識した設計で、プレーヤーが寛げる空間を創り出しております。中でも大きな池に張り出したレストランは眺望も良く評判です。

フェアウェイにおいてもティフトン芝（夏芝）とライグラス（冬芝）を用い、トランジッションを行うことでエバーグリーンを可能にしております。

桜の頃から初秋までは、関東圏には珍しい18Hスルーというアメリカンスタイルを採用するなど全ての面においてスポーツとしてのゴルフが体感できるゴルフ場です。

平成20年度 関東ゴルフ連盟主催競技 日程表

平成19年12月27日現在

競技名	予選・決勝	開催日	開催倶楽部
関東女子選手権	第1ブロック	4月15日(火)	甘楽カントリークラブ(群馬県)
	第2ブロック	4月14日(月)	磯子カントリークラブ(神奈川県)
	決勝	5月12日(月)~5月13日(火)	京葉カントリー倶楽部(千葉県)
関東グランドシニア選手権	第1ブロック	4月21日(月)	高坂カントリークラブ・米山コース(埼玉県)
	第2ブロック	4月21日(月)	高坂カントリークラブ・岩殿コース(埼玉県)
	第3ブロック	4月21日(月)	千葉カントリークラブ・野田コース(千葉県)
関東アマチュア選手権	決勝	5月26日(月)	程ヶ谷カントリー倶楽部(神奈川県)
	第1ブロック	5月9日(金)	メイブルポイントゴルフクラブ(山梨県)
	第2ブロック	5月13日(火)	赤城国際カントリークラブ(群馬県)
関東ミッドアマチュア選手権	第3ブロック	5月9日(金)	唐津ゴルフ倶楽部・三好コース(栃木県)
	第4ブロック	5月12日(月)	鳩山カントリークラブ(埼玉県)
	第5ブロック	5月12日(月)	中山カントリークラブ(千葉県)
関東ミッドシニア選手権	第6ブロック	5月12日(月)	藤ヶ谷カントリークラブ(千葉県)
	第7ブロック	5月12日(月)	小金井カントリー倶楽部(東京都)
	第8ブロック	5月7日(水)	厚木国際カントリー倶楽部(神奈川県)
関東女子ミッドアマチュア選手権	第9ブロック	5月9日(金)	富士カントリークラブ(静岡県)
	決勝	6月4日(水)~6月7日(土)	鳥山城カントリークラブ(栃木県)
	新潟ブロック	5月27日(火)	フォレストカントリー倶楽部
関東ミッドシニア選手権	長野ブロック	5月23日(金)	三井の森カントリー倶楽部
	山梨ブロック	5月20日(火)	昇仙峡カントリークラブ
	群馬ブロック	5月22日(木)	初穂カントリークラブ(白沢高原コース)
関東ミッドアマチュア選手権	栃木第1ブロック	5月22日(木)	千成ゴルフクラブ
	栃木第2ブロック	5月23日(金)	レイクランドカントリークラブ
	栃木第3ブロック	5月21日(水)	那須小川ゴルフクラブ
関東女子ミッドアマチュア選手権	茨城第1ブロック	5月21日(水)	ザ・オーランゴルフクラブ
	茨城第2ブロック	5月19日(月)	水戸グリーンカントリークラブ山方コース
	茨城第3ブロック	5月22日(木)	こだま神川カントリークラブ
関東ミッドシニア選手権	埼玉第1ブロック	5月20日(火)	小川カントリークラブ
	埼玉第2ブロック	5月23日(金)	富里ゴルフ倶楽部
	埼玉第3ブロック	5月19日(月)	鶴舞カントリー倶楽部 西コース
関東アンダーハンディキャップ選手権	決勝	11月4日(火)・11月10日(月)	大洗ゴルフ倶楽部(茨城県)

※関東ジュニア選手権は決定次第KGAホームページ(www.kga.gr.jp)に掲載いたします。

月例競技成績表

〔平成19年度8月月例〕 平成19年8月13日(月) 程ヶ谷カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
	1	69	関澤 誠	ツインレイクス
	2	69	齊藤 麗	甲府国際
	3	70	水上 晃男	袖ヶ浦
	3	70	竹石 要佑	筑波
	5	71	田代 格	G M G 八王子
	5	71	澤田 信弘	東京五日市
	5	71	秋元 一男	相模原
	5	71	今野 宗雄	韋月・鹿沼

女子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
	1	72	青木茉里奈	白水
	2	75	落合 麻紀	箱根
	3	76	前田 千尋	越生
	3	76	松山奈津江	鹿沼 7 2

※優勝はブレーオフによる

〔平成19年度9月月例〕 平成19年9月12日(水) 箱根カントリー倶楽部
台風によるコースコンディション不良のため中止

〔平成19年度10月月例〕 平成19年10月22日(月) 嵐山カントリークラブ

男子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
	1	70	千年原一仁	京
	2	70	青木 龍一	東名
	2	70	保田 和貴	マナ
	4	71	鬼澤 友秀	ツインレイクス
	4	71	秋元 一男	相模原
	4	71	永井 英輔	東京国際

女子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
	1	77	青木茉里奈	白水
	2	77	南雲 寛菜	岡部チサン
	2	77	嶋田 江莉	アザレア

※優勝はブレーオフによる

※優勝はブレーオフによる

〔平成19年度11月月例〕 平成19年11月19日(月) 鷺之台カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
	1	72	桜井 一輝	梅ノ郷
	2	73	松田 永基	清川
	3	74	神戸 誠	太田双葉
	3	74	斎藤太津規	扶桑
	3	74	田代 格	G M G 八王子

女子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
	1	75	青木茉里奈	白水
	2	77	南雲 寛菜	岡部チサン
	3	78	西村 友希	太平洋・佐野ヒルクレスト

2008年度ゴルフ規則改訂について

平成20年度は4年に1度のゴルフ規則改訂の年に当たります。

変更規則の要点につきましては、既に11月1日に(財)日本ゴルフ協会より各加盟倶楽部へ送付されております。またJGAホームページ(www.jga.or.jp)に掲載しておりますのでご確認ください。

2008年度版ゴルフ規則書は、12月17日よりJGAホームページにて販売しております。

尚、2月より「2008年度ゴルフ規則改訂に伴う講習会」を加盟倶楽部対象に開催する予定です。

詳細は決定次第ご案内いたします。

お知らせ

9月28日(金)に、(社団法人)「じゃがいもクラブ」塩澤好久代表と金光哲淳さんより、ジュニアゴルファー育成の一助としてご寄付をいただきました。

関東ゴルフ連盟ジュニア育成委員会としてありがたく頂戴し、有効に使わせていただくことを約束いたしました。



塩澤好久代表(左)と大鷲俊朗ジュニア育成委員長

平成19年12月20日発行 KGA NEWS No.96
発行所／関東ゴルフ連盟 〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目-18番-11号 銀座SCビル4階
TEL.03-6278-0005 FAX 03-6278-0008 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>
発行人／吉田 友明 編集／広報委員会